

地域観光資源の中国語解説整備支援事業

地域観光資源の中国語解説文作成のための

ライティング・スタイルマニュアル

(追補版)

観光庁

2025年3月

はじめに

本マニュアルは、「地域観光資源の多言語解説整備支援事業（以下「観光庁多言語事業」という）」にて作成された、令和2年度から令和4年度までの計99地域の英語解説文を基に、中国語圏（中国大陆、台湾、香港など）からの外国人旅行者（以下「中国語圏旅行者」という）の立場に立ち、日本の観光資源の魅力を伝える中国語解説文を作成するための、制作会社の翻訳者・エディター等向けのマニュアルです。本追補版は、令和2年度に作成した「魅力的な中国語解説作成指針」を基に、令和6年度の事業を行う中で新たに得られた中国語解説文作成に関する知見を追加し、改訂したものです。

日本の文化や歴史、自然、食について学ぶ体験が満足のいくものであれば、その中国語圏旅行者は再び日本を訪れたり、友人に日本への旅行を勧めたりするでしょう。訪日外国人旅行者に向けた解説は官民一体となった受入環境整備の施策等により徐々に整備されつつありますが、中国語圏訪日外国人旅行者に向けた解説文は少ないだけでなく、誤訳や用法の異なる単語が散見されるなど、量質共に不足している状況です。本マニュアルの目的は、中国語解説文の作成に際し、作成方法や表記の統一的な基準を示すことによって、混乱を防ぎ翻訳と編集の作業を円滑に進めることです。本マニュアルに沿って作成を進めれば、翻訳者とエディターは日本の観光資源を中国語圏旅行者に魅力的に、かつ分かりやすく紹介することができます。

第1部「中国語の解説文作成の進め方」では、中国語圏旅行者にとって魅力的で分かりやすい中国語解説文の作成の進め方を概説するとともに、各作成工程における実践的な注意点をまとめています。第2部の「スタイルガイドライン」では、この事業において基準となる文書規範や表記法を示しました。

本マニュアルは、既存のガイドラインおよび中国語編集における国際的な慣習に則って制作されています。それぞれのセクションでは、中国語圏旅行者のための解説文を作成する上での主要な留意点が示されています。本マニュアルの内容は、観光庁の「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」における中国語解説文作成に特化したものです。本事業の対象ではない解説文の作成については、他の資料および有識者の見解も参考にしてください。

また、事業が継続する場合は、内容を変更する場合があります。

中国語圏旅行者にとって分かりやすく魅力的な解説文の整備に、ぜひ本マニュアルをご活用ください。

目次

第1部：中国語の解説文作成の進め方	5
(1) 中国語の解説文作成の進め方	5
重要なポイント	5
中国語（簡体字・台湾繁体字）の解説文作成ステップ	9
(2) 参考事例集（抜粋）	17
事例 A-1「東寺（文化財）」英語解説文を活用した中国語解説文の作成例(1)	17
事例 A-2「徳島市（観光）」英語解説文を活用した中国語解説文の作成例(2)	18
事例 A-3「媒体別地域別中国語作成文体規定書」	19
事例 A-4「東寺」文体の実例	20
事例 B-1「熊本市①」地域確認①の実例(1)	22
事例 B-2「熊本市②」地域確認①の実例(2)	23
事例 B-3「熊本市③」地域確認②の実例(1)	25
事例 B-4「熊本市④」地域確認②の実例(2)	27
(3) 第1部の補足資料	28
文体（文章のトーン&マナー）	28
媒体の種類と特徴	28
補足資料	29
第2部：スタイルガイドライン	32
(1) スタイルガイドライン	32
(a) 全般的注意	32
使用辞書	32
段落、フォントなどの書式	32
漢字表記がない用語・人名の表記方法	33
句読点、引用符などの符号	33
文体と文調	35
翻訳調の克服	37
語句の選択と適切な言い回し	39
文章の組み立てと構文	40
外国人に馴染みのない日本語の名詞と用語	42
その他の注意すべき語句や表現	42
各媒体における執筆ガイドライン	44
(b) 表記方法	45
人物・施設、流派・宗派、生物等の名称	45
暦と時代	47
(c) 数値に関する書式	49
数字の表記方法	49
度量衡	50
温度	51
金額	51
(d) その他の注意事項	52
文化財、天然記念物、世界遺産などの指定について	52
包摂的（インクルーシブ）な表現を用いる	52
訳語の選択	52

温泉の効能について書く時の注意	52
(2) 第2部の補足資料	53
ローマ字表	53
日本の歴史年表	53
神社仏閣	55
自然地名	64
植物	64
動物	67
食・食文化	68
その他	69

第1部：中国語の解説文作成の進め方

(1) 中国語の解説文作成の進め方

重要なポイント

1. 日本人と中国語圏旅行者の間にある日本文化等に関する知識や認識の違いの理解

地域ではすでに中国語も含めた多言語解説文はあるものの、日本人向けの解説文を他言語への直訳や機械翻訳の文章が使われている事例が多い。日本人向けの日本語の解説文をそのまま外国語に翻訳（すなわち直訳）するだけでは、意が伝わらない可能性がある。日本の歴史や文化について背景的な知識を持っている日本人にとって容易に理解できる情報が、外国人旅行者にとっても自然に理解できるとは限らない。

観光庁多言語事業で作成した英語解説文は、これらの課題に取り組んだ結果、英語圏旅行者にとって大変満足度の高い解説文になっており、中国語圏旅行者にとっても、興味・関心をそそる内容になっている。そのため、当該英語解説文を元に、中国語圏旅行者の立場に立って、収集した情報を整理した上で翻訳することで、より魅力のある中国語解説文とすることが可能である。

一方で、中国語圏と日本は、歴史、文化において中国からの影響を受けながら、それぞれの発展を遂げているため、中国語圏旅行者にとって不足または過剰な情報を適切な形で取捨することが必須である（詳細はpp.17-19、事例A-1「東寺」、A-2「徳島市」を参照）。

2. 中国語圏旅行者の興味・関心の把握

観光資源のどのような特徴が、中国語圏旅行者の興味・関心の対象になるのかをよく理解し、地域（日本人）目線ではなく、中国語圏旅行者の興味を増進するような解説を作成することにより、読み手にとって本当に役立ち、魅力のある情報提供となる。

日本人と外国人では、日本の歴史、文化、自然等に関する地域や興味・関心が異なる。英語解説文では、訪日外国人旅行者の視点から、それぞれの観光資源におけるどのような特徴が彼らの興味・関心を増進し、読み手にとって本当に役に立ち、魅力のある情報提供となるのかを検討し、解説文を作成している。しかし、中国語圏旅行者の視点を考慮せず、地域が訴求したい情報のみを提供するだけでは、魅力が十分に伝わらない恐れがある。したがって、中国語圏旅行者の興味・関心について調査することで、解説文の満足度を向上させる要素を把握することが必要である。

本事業で実施した調査の結果及びこれまで培った知見に基づき、中国語圏旅行者が有

益かつ魅力を感じてもらえるポイントを、下記のように内容と表現の両面の基準に従ってピックアップし、整理した。

内容面の基準：

(a)権威性：世間に高く評価され、世に広く名を知られる要素

例) 世界遺産、文化財、ミシュラン等世に公認された権威ある場所またはモノ、著名人と縁のある場所またはモノ 等

(b)独自性：ほかのところにない、アピールポイントになりうる要素

例) 絶滅危惧種や地域限定等稀少性のあるモノ、発祥の地等、物語として語れるモノ 等

(c)享楽性：物理的に高い満足感を与えられる要素

例) 最適な観光ルート、最高の撮影ポイント、最高のグルメ・特産品、100%源泉の温泉宿、ワンストップ手続きサービス等、飲食・宿泊・移動等の面において、最善最高のモノまたはサービス 等

(d)体験：ディープに楽しめる要素

例) 陶芸、茶道、釣り、着物着付、農業等、双方向型・体験型アクティビティ 等

(e)中国との縁：中国を感じさせられる要素

例) 中国由来、中国の影響を受けた場所または人物またはモノ、またはその逆で、日本が本家で、中国に伝わったモノ 等

表現面の基準：

(f)分かりやすさ：簡潔、平易、明瞭、リズム感のある解説文

例) 固有名詞など難解箇所に適切な注釈、中国語圏旅行者が馴染みのある表現、想定媒体に適した文字量、起承転結を意識する文章構成 等

3. 媒体と地域の特徴に適する文体の設定

中国語解説文の読み手の属性の他、解説文を掲載する媒体の用途および長所と短所を理解し、媒体に適する文体（文章のトーン&マナー）や文字数（※）等を変え、媒体に適した書き方とする必要がある。

※日中英の文字数の目安：日本語400文字に対して、中国語は約300文字、英語は約220ワード。

同じ整備対象物であっても、整備を行う媒体によって、体裁やレイアウトは異なり、解説文の内容の取舍選択や適切な文体を用いる必要がある。とりわけ中国語圏の場合、

媒体だけでなく、地域や整備対象の特徴に適した文体及び文字数の設定が必要であり、特徴に適さない文体で書かれた解説文は読み手に違和感を与えるだけでなく、提供された情報自体の信頼性も損なう恐れがある（p.28、「文章のトーン&マナー」参照）。

また全体として、中国語圏旅行者は難しい専門用語が少ない平易な説明と短い文章を好む一方、学術論文のような無味単調の解説文ではなく、美しい表現に惹かれる傾向も見受けられるため、「平易さ」と「麗しさ」をいかにバランス良く融合させるかが、中国語解説文の魅力を高める重要なポイントのひとつである（pp.19-21、事例A-3「媒体別地域別中国語作成文体規定書」、事例A-4「東寺」参照）。

4. 簡体字と繁体字

中国語には、主要なものに限っても7つ以上の方言があると言われ、2種類の漢字形態（簡体字と繁体字）が存在する。特に漢字形態については、中国語話者であっても日常的に使用しない種類の文字は読めないことも多い。このため、中国語解説文の作成にあたっては、中国大陆やマレーシア・シンガポールなどで使用される簡体字と、香港・マカオや台湾などで使用される繁体字の両方の文字による解説文を整備することが望ましい。なお、同じ繁体字であっても、広東語を使用する香港・マカオで使われる香港繁体字と、台湾華語を使用する台湾で使われる台湾繁体字では用語や表現が若干異なるため、より高い満足度を得るためには、地域のニーズに合わせ、ターゲットとするインバウンド市場を明確にした上で、解説文で整備する繁体字を決定する。

本事業では、簡体字と台湾繁体字を採用する。

5. 品質の高い中国語解説文作成のための専門人材の確保

先に挙げた1～4のポイントに沿って、中国語圏旅行者の立場に立った情報を盛り込みつつ、英語解説文を編集し、中国語化するためには、専門性と経験を備えた人材の確保が決定的に重要である。

人材の確保にあたっては、中国語解説文を作成する対象物の特性（文化財、自然、食文化、伝統、芸能等）と、専門人材が得意とする地域・分野が合致しているかが重要である。

地域においてすべての専門人材を確保して実施することは困難であることが想定されるが、本事業で実際に起用した要件を参考に示す。

なお、以下ではこれらの人材の総称として「専門人材」という名称を用いる。

◆専門人材の役割と要件

専門人材の名称		役割	人材要件
翻訳者		英語解説文及びエディターが修正した日本語原稿を元に、地域と媒体の特徴に適した文体表現を用いて、中国語（簡体字・台湾繁体字）に翻訳編集する。	中国語（簡体字または台湾繁体字）を母国語とし、大卒以上の学歴、5年以上の英中または英日翻訳歴を持つ者。
エディター	メイン	英語解説文を中国語圏旅行者の視点から内容を検証し、必要に応じて取捨、追記、編集する。また必要に応じて、中国語解説文のブラッシュアップをサポート。	中国語（簡体字または台湾繁体字）を母国語とし、ネイティブレベルに近い英語力または日本語力を有する。中国語圏訪日客の興味関心を熟知し、かつ日本の自然、文化財、観光等の分野に一定の知見を持つ者。
	サブ	英語解説文の事実確認を実施し、メインエディターの作業をサポート。	日本語を母国語とし、ネイティブレベルに近い英語力を有し、日本の自然、文化財、観光等の分野に一定の知見を持つ者。
校閲者		翻訳者が翻訳し、エディターが編集した中国語解説文（簡体字と台湾繁体字）の意味や内容について、誤用や事実誤認などの有無を確認し、翻訳者に修正を指示する。	中国語（簡体字または台湾繁体字）を母国語とし、大卒以上の学歴、5年以上の書籍執筆または編集歴を持つ者。
スタイルチェッカー		翻訳者が翻訳し、エディターが編集した中国語解説文（簡体字と台湾繁体字）について、本事業の編集方針である中国語解説文の『スタイルマニュアル』に基づき、ライティングスタイルの統一を行う。	中国語（簡体字または台湾繁体字）を母国語とし、本事業の「スタイルマニュアル」の内容を理解し校閲できる者。
ディレクター		全体企画（検証基準設定・スタイル文体策定）、事務局への定期進捗報告のまとめ及び各作成実務チームへのオリエン、進捗・危機管理を行う。	中国語（簡体字または台湾繁体字）を母国語またはネイティブレベルに近い、かつ事業の企画・執行管理の経験が豊富にあり、事業全体の進捗を円滑に遂行できる者。

中国語（簡体字・台湾繁体字）の解説文作成ステップ

工程	実施内容とポイント	担当者と役割							所要 目安 時間	
		地域	ディレ クター	翻訳者	エディター		校閲者	スタイル チェッカー		
					メイン	サブ				
		事業 主体者	企画進行 管理	中国語 翻訳	中国語圏 旅行者 視点	事実確認	中国語 ブラッシュ アップ	ライティ ング スタイル 統一		
事前準備										
	Step 1 / 作成体制の構築 経験豊富な人材の起用		◎						1ヶ月	
内容検証										
	Step 2 / 英語解説文の検証編集 事実確認、中国語圏旅行者視 点からの取捨、追加要素の確 認		●		◎	◎			1ヶ月	
	Step 3 / 地域確認① 検証編集結果の確認	◎	●		(●)	(●)			2週間	
中文作成										
	Step 4 / 中国語翻訳 翻訳（一次訳→校閲→日本語 仮訳）		●	◎	◎	◎	◎		1ヶ月	
内容確認										
	Step 5 / 地域確認② 日本語仮訳の内容確認、中国 語監修者がいる場合は中国 語解説文の確認	◎	●		(●)	(●)			2週間	
最終調整										
	Step 6 / 中国語解説文と日本語 仮訳の最終仕上げ 地域の意見を精査し、最終修 正調整を行う		●	◎	(●)	(●)	◎	◎	2週間	
地域納品										2週間
	Step 7 / 地域納品 所定の提出様式に収め、地域 に納品		●							

【凡例】◎：主担当、●：担当、(●)：必要に応じて担当

◆事前準備

Step 1：作成体制の構築

本事業では、観光庁多言語事業の英語解説文を活用し、中国語解説文の作成を行うために、以下の人材を起用する。それぞれの人材は、中国語を母国語とする者のほか、英語または日本語のネイティブレベルに近い言語力を有し、かつ、業務経験を豊富に持ち合わせていることを要件とする（詳細は p.8、「専門人材の役割と要件」を参照）。

- ・ 翻訳者
- ・ エディター
- ・ 校閲者
- ・ スタイルチェッカー
- ・ ディレクター

◆内容検証

Step 2-1：英語解説文の検証

〈ディレクター・翻訳者・エディター（・有識者）〉

対象となる読み手を明確にイメージしながら、既存の英語解説文の内容を検討し、中国語圏旅行者の視点から①読み手が魅力と感ずる要素の追記（事実確認も含む）及び②より分かりやすくするための表現の文体（トーン&マナー）設定の2点における検証作業を行い、中国語圏旅行者向けの訴求ポイント等の調整を行う。

検証結果を示す際には、その信頼に値する根拠を併せて明記する。

Step 2-2：地域確認用の日本語仮訳の作成

新規要素及び英語解説文の記載要素を組み合わせ、地域が解説文の内容を確認するための日本語仮訳を作成する。

※地域に中国語（簡体字・台湾繁体字）を閲読できる人材がない場合に備え、中国語の解説文の要素を確認できるように日本語仮訳を用いて地域確認を行う。この段階での日本語仮訳は、中国語解説文作成前に解説文に盛り込む要素についての内容確認を目的とする。

Step 3：地域確認①

検証後の英語解説文と日本語仮訳を地域に提出し、追加・削除・調整要素等の有無を含めて確認を受ける。また、中国語解説文作成にあたり、適切な文体について相互で確認を行う。

・地域確認①の流れとポイント

(pp.22-24、事例B-1「熊本市①」、事例B-2「熊本市②」参照)

〈専門人材から地域へ〉

中国語圏旅行者が魅力とを感じる事項の追記等、調整すべき内容や表現に関する提案を行う。



〈地域側の対応〉

専門人材からの提案について、適切に対応・回答する。

- ・ 差支えがないか、事実に齟齬がないかを確認する。
- ・ 指摘内容や修正依頼内容が適切に反映されているかどうかを確認する。
- ・ 専門人材側に修正依頼する際、指摘事項に関する根拠資料等も添付して回答する。



〈専門人材側の対応〉

地域からの回答を反映し、解説文に盛り込む内容及び文体（文章のトーン&マナー）の設定を確定する。

◆ 中文作成

Step 4-1：中国語への翻訳

エディターによる検証後の解説文は、地域の確認と了承を得た後に、中国語への翻訳を開始する。中国語翻訳は簡体字と台湾繁体字の2チームに分け、以下の手順を踏み中国語を作成する。最後に、編集を終えた中国語の日本語仮訳を作成する。

本事業では、英中翻訳を基本としながら、一部日本語の追記・調整内容もあるため、日中翻訳の知見を有する専門人材（翻訳者、編集者・校閲者）の参加が必要である。

また、全体の統一化、効率化、品質担保等を考慮し、以下の通り、まず簡体字から着手し、一次訳ができた段階で台湾繁体字に展開する。

	簡体字	台湾繁体字
手順1 翻訳・ 文字変換	【翻訳】 英語解説文 ＋ 調整箇所の日本語に準じて 英中・日中翻訳者による 翻訳編集 	【文字変換】 簡体字手順1の完成原稿に対して 台湾繁体字に変換 ＋ 英中・日中翻訳者による 用語と表現の調整、訳文の確認 
手順2 校閲	手順1の完成原稿に対して 校閲者による専門用語・文体に 対するチェック & 全体のブラッシュアップ 	手順1の完成原稿に対して 校閲者による専門用語・文体に 対するチェック & 全体のブラッシュアップ 
手順3 日本語仮訳	手順2の完成原稿に準じて 翻訳者による日本語仮訳作成 	
手順4 初稿完成	手順2と3の完成原稿を合体させ 中国語解説文及び日本語仮訳の初稿を完成させる	

Step 4-2：中国語解説文の編集・校閲

解説文の内容について、事実関係の正確さの確認、記号の使い方等の書式的確認を含め、全体的に確認する。

〈編集者〉

中国語圏旅行者にとって分かりやすく魅力的な解説となるように、翻訳者が作成した解説文をブラッシュアップする。

〈編集者・校閲者〉

確認のポイント

- ・ 文体（読みやすさ、トーン&マナー）
- ・ データや数値の正誤
- ・ 一般的な事実関係の確認
- ・ 固有名詞の正誤
- ・ 表記の一致・統一（第2部のスタイルガイドラインに準拠しているか）
- ・ 一般的な誤脱字 等

※解説文の内容により、文化財や自然などに関する専門的知識に基づく判断が必要である場合は、適切な学術的知見を有する者から適宜アドバイスを受ける。

翻訳・編集時の留意点

- (1) 対象となる読み手をイメージして、設定した文体に常に留意する。
- (2) とくに、読み手が中国語圏旅行者であることを意識する。すなわち、元となる英語解説文の内容や構成をそのまま維持することにこだわらず、あくまで中国語圏旅行者の視点で、中国語として不自然さのない内容と構成になるよう心がける。
- (3) 読み手の対象範囲は広く想定し、文体や言葉使いなどの面で受け入れられやすいように留意する。
- (4) 想定する中国語圏旅行者が興味関心を持つと考えられるトピックを含む文章を作成する。自分が対象となる読み手だったら何を興味深いと感じるか想像し、必要な情報を精査し解説文をブラッシュアップする。
- (5) 翻訳者・編集者は、文中のすべての事実の正確性について、複数のソースを用いて確認するとともに、使用した資料を記録しておく。

※事実確認は、原則として地域協議会および校閲者の役割であり、これらが記載内容の責任を負っているが、翻訳者・編集者においても可能な限り事実を確認した上で解説文に反映させることが望まれる。執筆にあたり不明な点等があった場合は、そのままにせず地域協議会に問い合わせること。

執筆後のチェック事項

- (1) 解説文は、想定する中国語圏旅行者が尋ねそうな質問に答えているか。
- (2) 解説文は、想定する中国語圏旅行者が興味関心を持ちそうな地形、歴史的事実、動植物などの情報を盛り込んでいるか。
- (3) 解説文は、想定する中国語圏旅行者にとって重要な順に情報を提示しているか。
- (4) 解説文は、想定する中国語圏旅行者にとって未知の可能性がある前提知識を端的に説明しているか。または中国語圏旅行者の多くが既に知っている情報について冗長に情報を提示していないか（→詳細はpp.17-19、事例A-1「東寺」、A-2「徳島市」を参照）。
- (5) 解説文の情報は、想定する中国語圏旅行者の日本の歴史・文化への理解を促すか。

〈編集者〉

翻訳者が作成した解説文の表現や内容について確認、調整する。必要に応じて地域協議会等に確認を取り、修正を加える。

Step 4-3：地域確認用の日本語仮訳の作成

前記の翻訳・編集・校閲の作業の成果を集約し、地域が解説文を確認するための日本語仮訳を作成する。

※この段階での日本語仮訳は、解説文自体の内容確認を目的とする。

◆内容確認

Step 5：地域確認②

地域での2回目の確認作業にあたるこの段階では、中国語解説文を中心に、「地域確認①」において承認した変更内容が適切に反映されているかどうかを確認するとともに、中国語解説文の表現や文体（文章のトーン&マナー）等についての校閲を行う。

この段階での確認作業は、中国語解説文の品質を担保する上で最も重要である。そのため、解説文を作成する専門人材とは別に、地域（観光資源の所有者や管理者等解説文を整備しようとする者）においても中国語（簡体字・台湾繁体字）で解説文を監修・校閲できる者を確保することが望ましい。しかし、地域でそのような人材の確保ができない場合は、制作事業者と協議の上、制作事業者が手配する。その他にも、地域において中国語（簡体字・台湾繁体字）のネイティブ話者の校閲者を確保し、第三者チェックを行うことが望ましい（これらの人材の詳細要件はp.8、「専門人材の役割と要件」の「校閲者」項を参照）。

・地域確認②の流れとポイント

(pp.25-27、事例B-3「熊本市③」、事例B-4「熊本市④」参照)

〈専門人材から地域へ〉

作成した中国語解説文（簡体字・台湾繁体字）及びその日本語仮訳を、地域側の確認用に送付する。



〈地域側の対応〉

新規追記、調整した箇所も含む内容全体について、事実に齟齬がないかを確認する。

- ・（地域確認①と同様に）専門人材側への修正依頼や指摘事項がある場合は、根拠資料等も添付して回答する。
- ・地域確認①②で指摘した内容について、専門人材から再確認依頼やフィードバック等があれば適切に対応し、指摘内容や修正依頼内容が適切に反映されているかどうかを確認する。

	簡体字	台湾繁体字
手順5 修正	地域の見解を踏まえ、編集・校閲を行い、解説文の最終調整を行う	地域の見解を踏まえ、編集・校閲を行い、解説文の最終調整を行う
		
手順6 日本語仮訳	手順5の完成原稿に準じて日本語仮訳の最終調整を行う	

◆最終調整

Step 6：中国語解説文と日本語仮訳の最終仕上げ

〈ディレクター・編集者〉

地域からの指摘・依頼を踏まえ、編集・校閲を行う。

〈スタイルチェッカー〉

調整後の中国語解説文に対し、スタイルチェッカーは、中国語解説文の『ライティング・スタイルマニュアル』（本文書）に基づいて、段落・フォントなどの書式や固有名詞の表記、句読点・引用符などの符号の使い方など、ライティング・スタイルの

統一を最終確認する。

〈ディレクター・編集者〉

スタイルチェッカーの指摘を踏まえ、中国語解説文を最終編集した上で、日本語仮訳の最終編集を行う。

対象となる読み手の視点でわかりやすい解説文になっているかを確認する。修正要求や指摘事項に正しく対応できているかどうかを含め、内容を全体的に確認する。

〈校閲者〉

すべての文章について、文法ミスや表記の不一致も含めチェックを行い、修正・改善が必要な箇所は指摘して編集者等に戻す。

〈翻訳者・編集者〉

戻された原稿の内容を推敲し、校閲者からの指摘にすべて対応する。

◆地域納品

Step 7：地域納品

最後に、中国語解説文と日本語仮訳の原稿を所定の提出様式に収め、地域協議会に納品する。

※本事業の納品物の詳細は、別途『解説文事例集』をご参照ください。

(2) 参考事例集（抜粋）

事例 A-1「東寺（文化財）」英語解説文を活用した中国語解説文の作成例(1)

【英語解説文（日本語仮訳）】

東寺は、死後は弘法大師（佛教の教義の大師の意）として知られるようになった有名な学者であり、建築家であり、能筆家であった僧空海（774-835）と密接に結びついている。空海は遣唐使の一員として 804 年に中国を訪れ、唐王朝（618-907）の支配下でインドから中国まで広まっていた密教の教義と儀式を研究した。密教は佛教の世界の宇宙を視覚的に描いたものである曼荼羅を巧みに使用することで知られる。曼荼羅は絵画、仏像の配置、建物など、東寺のいたるところで見ることができる。

空海は 806 年に帰国し、中国で学んだことを教え始めた。823 年、嵯峨天皇（786-842）は東寺を空海に下賜し別当に任じた。この時期までに彼の教義を真言宗という密教にしていた。空海は、真言宗だけが東寺で修行されることを条件にそのポストを受け入れた。これは、同じ寺院で複数の宗派が学ばれていた当時の一般的な慣行からの大胆な脱却であった。彼は別当として寺を改革し、講堂や五重塔などを含めた新しい建物を建てて拡大した。

多くの英語圏旅行者にとって、「空海」及び「密教（曼陀羅）」はあまり馴染みがないため、英語解説文では補足説明を追加し（上記赤文字で示した箇所）、英語圏旅行者の満足度が高まった。しかし、ほとんどの中国語圏旅行者は、空海という日本の名僧や空海と中国との縁、インド由来の密教（曼陀羅）を熟知しており、東寺と空海の関係性、東寺の特徴と一番の見どころを最も知りたいと思われるため、本事業では、英語と地域の日本語情報を合わせて、以下のように提供する情報を整理した。

↓

【中国語解説文（日本語仮訳）】

(a)東寺は、有名な学者であり建築家、能筆家でもあった弘法大師（空海 774-835）とのゆかりの深い寺である。823 年、嵯峨天皇（786-842）は東寺を空海に下賜した。翌年、空海は東寺の別当になり、その後彼は東寺を真言密教の根本道場とするために、講堂や五重塔など新しい建造物を建立し、その規模を拡大した。(b)東寺のいたるところで、仏教の世界の宇宙を視覚的に描いたものである曼荼羅の絵画、仏像の配置、建物などを見ることができる。

下線(a)：空海は、名僧というだけでなく、建築家、能筆家としても知られること、および空海と東寺との関係

下線(b)：東寺の特徴及び一番の見どころ

事例 A-2「徳島市（観光）」英語解説文を活用した中国語解説文の作成例(2)

【英語解説文（日本語仮訳）】

徳島は四国で 2 番目に長い吉野川の下流域の砂州に築かれた城下町として始まりました。現在の地名の多くは、周囲を川に囲まれていることから「島 (island)」という言葉が使われています。福島、寺島、住吉島などがその例です。川を水路にして物資を運ぶことで商人が栄えました。

1889 年に徳島が正式に市制施行されたときには、全国で 10 番目に大きい都市でした。この地域は藍の栽培に適していました。藍染め産業が繁栄するにつれて、それは都市の経済発展を支援するのに役立ちました。

徳島の人々は、江戸時代(1603-1867)初期から盆踊り（夏の民衆踊り）を踊ってきました。藩当局は、住民が特定の近隣地域でのみ踊ることができるように厳しい規制を課しました。街頭に集合していたため、警察署の許可を得る必要があり、現在でもその状況は続いています。

1928 年に徳島商工会議所が踊りの協賛を始め、観光地として瞬く間に成長しました。この頃から、夏の風物詩である「盆踊り」が、季節を問わずイベントや祝いの場所で踊られるようになったことから、「阿波踊り」という言葉が使われるようになりました。阿波は徳島の旧称です。1946 年には「阿波踊り」という名称が正式なものとなり、復興して全国に広まっていきました。

本解説文は、徳島市と阿波踊りの概要に関する説明である。中国語圏旅行者が概要解説に求める要素として、地理関係、歴史的由来、地位評判など、ほかとは異なる独自性に富む内容、簡潔かつ明確な文章が挙げられる。上記下線部分で示した箇所は、漢字やアジアの祭り文化にあまり馴染みのない英語圏旅行者にとって、満足度向上につながる情報に違いないが、中国語圏旅行者にとっては、やや過剰で冗長と思われるため、本事業では、英語と地域の日本語情報を合わせて、以下のように提供する情報を整理した。

↓

【中国語解説文（日本語仮訳）】

(a)徳島は、四国で2番目に長い川である吉野川の下流の中洲に築かれた城下町(城を中心に作られた都市)として始まり、多くの川に囲まれていました。この川を水路として商業が急速に発展しました。この地域は蓼藍(インディゴを多く含む植物)の栽培に適しており、藍染め産業が徳島の産業の柱となりました。1889年に徳島が正式に市制施行された当時、日本で10番目に大きな都市でした。

(b)徳島では江戸時代(1603-1868)初期から盆踊り(旧暦7月15日のお盆の頃に開催される先祖供養と鎮送のための踊り)が行われており、1928年に徳島商工会議所が踊りの協賛を始めたことで、盆踊りは観光の目玉として瞬く間に成長しました。同時に、「盆踊り」に代わって「阿波おどり」(阿波は徳島の旧称)という名称が徐々に定着し、1946年に復活して全国に広まると、「阿波おどり」が正式な名称となりました。現在では、「阿波おどり」は日本三大盆踊りのひとつになっています。

下線(a)：徳島市の概要（地理的位置、歴史的由来、主要産業、全国的にみた地位）

下線(b)：阿波踊りの概要（歴史的由来、全国的にみた地位）

事例 A-3「媒体別地域別中国語作成文体規定書」

地域番号	地域名	カテゴリ	想定媒体	文体（トーン＆マナー）
010	東寺	文化財	デジタルサイネージ（看板）	<全体>格調を備えた平易な文体 古き日本の伝統文化に相応しい品位を保ちつつ、読みやすい文体が望ましい。 【詳細】 ・上記全体の文体を大前提としつつ、中国語圏旅行者にとって、説明不要と思われる箇所（中国語読み等）を省き、仏教関連箇所は中国語圏旅行者が慣れ親しんだ表現にする。 【文字数】 ・地域から文字数をなるべく少なくするとのご要望があり、内容を整理し、できるだけ洗練された表現を用いて、1 解説文を 300 文字以内に抑える。
063	利尻礼文サロベツ国立公園	自然	ユニコードテキスト看板	<全体>無駄がなく、麗しさが宿る文体 美しい自然に相応しく、滑らかで、平易で、かつ親しみやすい文体が望ましい。 【詳細】 ・上記全体の文体を大前提としつつ、地形、植物、動物等、比較的専門性の高い内容は、小学生も分かるように、できるだけ平易な文体とする。

				- どの媒体も活用できるユニコードテキストは文字数に特に気にしなくて良い。 【文字数】 - 看板はスポットの概要説明のため、過度な修飾を避け、簡潔に事実のみをわかりやすく表現し、1 解説文をなるべく 300 文字以内に抑える。
040	熊本市	観光	WEB 看板	<全体>軽快さを持ち合わせた可読性の高い文体 複合観光地域に相応しく、楽しく、明るく、ワクワクさせられ、読みやすく軽やかな文体が望ましい。 【詳細】 - 上記全体トーンマナを大前提としつつ、自然・レジャー・グルメはワクワク、楽しさを、温泉は安らぎ感、温かみを、歴史文化は平易、分かりやすさを意識して、解説文の内容に併せて、テイストを調整する。 - 観光分野ではあるが、歴史文化に関する内容が多く、格調を備えた平易な表現にするよう心がける。 【文字数】 - 看板の文字数はなるべく 300 文字以内に抑える。

事例 A-4「東寺」文体の実例

地域 番号	地域名	カテゴリ	想定媒体	文体（トーン＆マナー）
010	東寺	文化財	デジタル サイネージ （看板）	<全体>格調を備えた平易な文体 古き日本の伝統文化に相応しい品位を保ちつつ、読みやすい文体が望ましい。 【詳細】 - 上記全体の文体を大前提としつつ、中国語圏旅行者にとって、説明不要と思われる箇所（中国語読み等）を省き、仏教関連箇所は中国語圏旅行者が慣れ親しんだ表現にする。 【文字数】 - 地域から文字数をなるべく少なくするのご要望があり、内容を整理し、できるだけ洗練された表現を用いて、1 解説文を 300 文字以内に抑える。

【推奨する文体（中国語簡体字）】

日光、月光菩薩

传统的药师如来像，身侧常随两尊胁侍像，即日光、月光二菩萨，意为日月之光。据佛经记载，如来因誓愿普渡众生，而推迟自身开悟，以致暂留人间。众菩萨像，如日光、月光菩萨，多头戴宝冠，衣饰华美；而佛陀塑像则身着一袭长衣，素净不加粉饰。两者各异其趣，交相辉映。

【理由】

まず、起承転結を以て内容を整理する。次に、中国語圏旅行者が馴染みのある言葉（仏教用語、四字熟語等）を選び、格調を備えつつも親近感を有する文体ができ、かつ文字数も抑えられる。さらに、「両者は極めて対照的である」という解説文の最後に、「それぞれの趣を有しながら、互いに照り映える」を付け加えることで、薬師如来を含めた3体の仏像が醸し出す世界観を伝える。

【推奨する文体（中国語簡体字）日本語仮訳】

日光菩薩と月光菩薩

薬師如来の両脇に、侍像としてそれぞれ日の光と月の光を表している日光菩薩と月光菩薩を従えていることが伝統である。仏教の経典では、如来は衆生を涅槃へと導くために、自らの悟りを開くことを遅らせることで、この世に留まった存在とされている。多くの菩薩像は、ここにいる日光や月光がつける宝冠のような装飾品で身を飾るが、如来像はほぼ装飾せず、簡素な長衣だけを身に纏っているため、両者は極めて対照的であり、それぞれの趣を有しながら、互いに照り映える。

事例 B-1「熊本市①」地域確認①の実例(1)

〈地域側の対応〉

中国語圏旅行者が魅力を感じるものとして専門人材が追記や調整を提案した内容、あるいは表現の設定に対して、地域側は、その提案で差支えないか、事実上齟齬がないかを確認する。

※追記・調整した箇所、修正・承認した箇所は、地域側・専門人材側の双方が確認しやすくするため、色分けなどの方法で明示する。

【英語解説文（日本語仮訳）に対するエディターの検証結果】

《凡例》

ゴシック体＝新規追記箇所、下線部＝調整箇所

未申櫓

昔の日本では、方位を**中国起源**の干支、十二支の動物で表すことがありました。「未」（ヒツジ）と「申」（サル）という漢字は南西の方角を意味していることから、~~天守閣からみて~~「本丸」*北西部にある「西出丸」の南西に位置するこの櫓（**偵察や射撃のための高樓**）の名前の由来になっています。築城当時の櫓は 19 世紀後半に取り壊されました。現在の櫓は、江戸時代（1603-1867）の絵画と明治時代（1868-1912）の写真をもとに 2003 年に復元されたものです。

外からは 2 階建てに見えますが、実際には 3 階建てになっています。平時には一般的に保管庫として使われていましたが、戦時には防御のために使われていました。武士は、櫓の銃眼や「石落とし」（**石を落下させたり熱湯を放ったり、矢を射下ろしたりする所**）を通して攻撃していたのです。未申櫓の背後の構内には奉行所（奉行丸）がありました。

※「丸」とは城郭の内部、防衛用の空間のこと。「本丸」は通常、天守と城主の居館がある最も重要な空間。

〈中国との縁〉

中国語圏旅行者にとって既知のことについて触れることで、より親近感が増すと考えます。
出典：「干支」（コトバンク・日本国語大辞典）
<https://kotobank.jp/word/%E5%B9%B2%E6%94%AF-36886>

〈書き換えのご確認〉

NO.007 を参照し、左記のように書き換えたほうが位置関係をより把握しやすいと考えますが、内容の適否をご確認ください。

〈分かりやすさ〉

中国語圏旅行者にとってあまり馴染みのない固有名詞は、左記のように簡単な注釈をつけることで、より理解しやすくなると考えます。

出典：いずれも「コトバンク・デジタル大辞泉」より

「櫓」

<https://kotobank.jp/word/%E6%AB%93-143570>

「石落とし」

<https://kotobank.jp/word/%E7%9F%B3%E8%90%BD%E3%81%97-431965>

「丸」

<https://kotobank.jp/word/%E4%B8%B8-137471>

「本丸」

<https://kotobank.jp/word/%E6%9C%AC%E4%B8%B8-135290>

【地域から専門人材側への回答】

- ・「丸」の説明…コメント欄にあったコトバンク「丸」（リンク先：<https://kotobank.jp/word/%E4%B8%B8-137471>）の「一-7」の説明にある「その位置から内側から本丸、二の丸、三の丸などと称する。」も含めると、よりイメージが湧きやすいと思います。
- ・ほかは OK です。

事例 B-2「熊本市②」地域確認①の実例(2)

〈専門人材側の対応〉

地域からの回答を反映し、解説文に盛り込む内容及び文体（文章のトーン&マナー）の設定を確定する。

- ・「WEB、看板」という媒体、「観光」という内容に関する全体的なトーン&マナーの設定（pp.28-29、「文体（文章のトーン&マナー）」「媒体の種類と特徴」参照）を大前提とする。その上で、歴史文化に関しては平易、分かりやすさを意識して、解説文の内容だけでなくテイストも調整する。
- ・観光分野ではあるが、歴史文化に関する内容が多いため、格調を備えつつも平易な表現にするよう心がける。

◆使用フォント

- ・簡体字：Source Han Sans CN Normal
- ・繁体字：Source Han Sans TW Normal
- ・日本語：Meiryo UI
- ・アルファベット/英数字：Times New Roman

【追加・調整後の英語解説文（日本語仮訳）】

《凡例》

ゴシック体＝新規追記箇所、下線部＝調整箇所、**囲み**＝確認①修正箇所

未申櫓

昔の日本では、方位を**中国起源**の干支、十二支の動物で表すことがありました。「未」（ヒツジ）と「申」（サル）という漢字は南西の方角を意味していることから、「西出丸」※の南西に位置するこの櫓（**偵察や射撃のための高樓**）の名前の由来になっています。築城当時の櫓は 19 世紀後半に取り壊されました。現在の櫓は、江戸時代（1603-1867）の絵画と明治時代（1868-1912）の写真をもとに 2003 年に復元されたものです。

外からは 2 階建てに見えますが、実際には 3 階建てになっています。平時には一般的に保管庫として使われていましたが、戦時には防御のために使われていました。武士は、櫓の銃眼や「石落とし」（**石を落下させたり熱湯を放ったり、矢を射下ろしたりする所**）を通して攻撃していたのです。未申櫓の背後の構内には奉行所（奉行丸）がありました。

※「西出丸」は「本丸」の北西部にある。「丸」とは城郭の内部、防衛用の空間のこと。**内側から「本丸」、「二の丸」、「三の丸」などと称し、「本丸」は通常、天守と城主の居館がある最も重要な空間。**

上記のように地域の承認をいただいて追加、調整した英語解説文と日本語仮訳が、中国語解説文を作成する際の元となる。

事例 B-3「熊本市③」地域確認②の実例(1)

〈地域側の対応〉

新規追記、調整した箇所も含む内容全体について、事実に齟齬がないかを確認する。

- ・（地域確認①と同様に）専門人材側への修正依頼や指摘事項がある場合は、根拠資料等も添付して回答する。
 - ・地域確認①②で指摘した内容について、専門人材から再確認依頼やフィードバック等があれば適切に対応し、指摘内容や修正依頼内容が適切に反映されているかどうかを確認する。
 - ・地域において中国語のネイティブ話者の校閲者を確保できる場合は、内容や表現が中国語圏旅行者にとってわかりやすいものになっているか、第三者チェックを行う。
- ※追記・調整した箇所、修正・承認した箇所は、地域側・専門人材側の双方が確認しやすくするため、色分けなどの方法で明示する。

【中国語解説文（簡体字）】

《凡例》

ゴシック体＝新規追記箇所、下線部＝調整箇所、**囲み**＝確認①修正箇所

未申櫓

過去、日本有时会用**起源于中国的**十二生肖来表示方位。“未”（羊）和“申”（猴）表示西南方向，因此这座位于“西出丸”※西南角的建筑被称为“未申櫓”，**櫓是用于瞭望、攻击的塔楼**。最初的塔楼在 19 世纪晚期被拆除，现在的建筑是 2003 年根据江戸时代(1603–1867)的绘画和明治时代(1868–1912)的照片复制而成。

从外面看，塔楼是双层，但实际上有三层。这些塔楼在和平时期用于储存物资，战时则用作防御。武士可以通过塔楼上的枪眼和落石窗（**投掷石块、倾泻沸水或射箭的窗口**）攻击。紧邻未申櫓背后的是奉行所（也称“奉行丸”），即地方长官的衙门。

※“西出丸”位于“本丸”的西北方。“丸”是指城堡内的防御空间。**城堡从内至外通常有“本丸”、“二之丸”、“三之丸”，其中“本丸”是城堡中最重要的区域，多为天守和城主的住所。**

【地域からの修正指示】

「絵画」だと風景画のようなものをイメージされるかと思うので、「平面図」の中国語に修正をお願いいたします。繁体字も同様です。

【地域からの修正指示】

「射箭口」に修正をお願いいたします。繁体字も同様です。

【中国語解説文の日本語仮訳】

昔の日本では、方位を**中国起源**の干支、十二支の動物で表すことがありました。「未」（ヒツジ）と「申」（サル）という漢字は南西の方角を意味していることから、「西出丸」※の南西に位置するこの櫓（**偵察や射撃のための高樓**）の名前の由来になっています。築城当時の櫓は 19 世紀後半に取り壊されました。現在の櫓は、江戸時代（1603-1867）の絵画と明治時代（1868-1912）の写真をもとに 2003 年に復元されたものです。

外からは 2 階建てに見えますが、実際には 3 階建てになっています。平時には一般的に保管庫として使われていましたが、戦時には防御のために使われていました。武士は、櫓の銃眼や「石落とし」（**石を落下させたり熱湯を放ったり、矢を射下ろしたりする所**）を通して攻撃していたのです。未申櫓の背後の構内には奉行所（奉行丸）がありました。

※「西出丸」は「本丸」の北西部にある。「丸」とは城郭の内部、防衛用の空間のこと。内側から「本丸」、「二の丸」、「三の丸」などと称し、「本丸」は通常、天守と城主の居館がある最も重要な空間。

【地域からの修正指示】

「絵画」だと風景画のようなものをイメージされるかと思うので、「平面図」の中国語に修正をお願いいたします。繁体字も同様です。

事例 B-4「熊本市④」地域確認②の実例(2)

〈専門人材側の対応〉

- ・地域からの回答を踏まえて解説文の追記・修正等を行う。

〈地域側の対応〉

- ・地域確認①②で指摘した内容について、専門人材から再確認依頼やフィードバック等があれば適切に対応し、指摘内容や修正依頼内容が適切に反映されているかどうかを確認する。

《凡例》

ゴシック体＝新規追記箇所、下線部＝調整箇所、

囲み＝確認①修正箇所、**アミカケ**＝確認②修正箇所

【中国語解説文（日本語仮訳）】

未申櫓

昔の日本では、方位を**中国起源**の干支、十二支の動物で表すことがありました。「未」（ヒツジ）と「申」（サル）という漢字は南西の方角を意味していることから、「西出丸」※の南西に位置するこの櫓（**偵察や射撃のための高樓**）の名前の由来になっています。築城当時の櫓は 19 世紀後半に取り壊されました。現在の櫓は、江戸時代（1603-1867）の**平面図**と明治時代（1868-1912）の写真をもとに 2003 年に復元されたものです。

外からは 2 階建てに見えますが、実際には 3 階建てになっています。平時には一般的に保管庫として使われていましたが、戦時には防御のために使われていました。武士は、櫓の銃眼や「石落とし」（**石を落下させたり熱湯を放ったり、矢を射下ろしたりする所**）を通して攻撃していたのです。未申櫓の背後の構内には奉行所（奉行丸）がありました。

※「西出丸」は「本丸」の北西部にある。「丸」とは城郭の内部、防衛用の空間のこと。

内側から「本丸」、「二の丸」、「三の丸」などと称し、「本丸」は通常、天守と城主の居館がある最も重要な空間。

(3) 第 1 部の補足資料

文体（文章のトーン&マナー）

実施地域は大きく「文化財」「自然」「観光」の分野に区分されており、分野ごとの文体は、基本的に下記の通りに設定する。

分野	文体（トーン&マナー）
文化財	格調を備えた平易な文体 古き日本の伝統文化に相応しい品位を保ちつつ、読みやすい文体が望ましい。
自然	無駄がなく、麗しさが宿る文体 美しい自然に相応しく、滑らかで、平易で、かつ親しみやすい文体が望ましい。
観光	軽快さを持ち合わせた可読性の高い文体 複合観光地域に相応しく、楽しく、明るく、ワクワクさせられ、読みやすく軽やかな文体が望ましい。

媒体の種類と特徴

主な想定媒体の文体および文字数のガイドラインは下記の通りとする。

媒体種類	対象者	主な特徴	文体および文字数
WEB	来訪予定者 （タビマエ）	- 全体像の把握が可能 - 多くの情報掲載が可能	- 地域の特徴を鮮明に分かるようにする - 多くの情報を起承転結でわかりやすく整理する - 訴求要素の順番、表現の強弱のつけ方に気を付ける 1 解説文の文字数を特に規定しない
SNS	来訪予定者 & 訪問者 （タビマエ & タビナカ）	- 全体像の把握が可能 - 多くの情報掲載が可能 - 携帯、持ち帰りが可能 - 絵や写真と共に、簡潔な情報掲載が可能	- 地域の特徴を鮮明に分かるようにする - 多くの情報を起承転結でわかりやすく整理する - 訴求要素の順番、表現の強弱のつけ方に気を付ける - わかりやすく、親しみやすい表現にする 1 解説文の文字数を特に規定しない
パンフレット、 二次元コード	来訪予定者 & 訪問者 （タビマエ & タビナカ）	- 携帯、持ち帰りが可能 - 絵や写真とともに、簡潔な情報掲載が可能	- 地域の特徴を鮮明にわかるようにする - 地域の全体像を把握でき、かつ拡散しやすいようになるべく簡潔かつインパクトのある表現にする 1 解説文の文字数をなるべく 500 文字以内とする
解説看板、 パネルキャプション	訪問者 （タビナカ）	目の前の対象に関する情報提供が可能	- 他言語とのバランスを重要視する - 簡潔に、わかりやすい文章にする 1 解説文の文字数をなるべく 400 文字以内とする

			する
音声ガイド	訪問者 (タビナカ)	・聴覚を通して情報提供が可能	・限られた時間のなかで聞きとれ、かつ理解できる情報量にする ・わかりやすく、親しみやすい話し言葉にする ・1 解説文の文字数をなるべく 500 文字以内とする
映像	訪問者 (タビナカ)	・視覚と聴覚を通して情報提供が可能	・限られた時間のなかで聞きとれ、かつ理解できる情報量にする ・簡潔で洗練されたインパクトのある表現にするように心がける ・字幕の場合、1 行に 20 文字以下とする

- ・媒体化する際は、中国語圏でのデザインの経験を持つなど、視覚的なデザインに詳しい人材を起用し、解説の見やすさ、目の引きやすさにも配慮することが望まれる。

補足資料

中国語解説文の作成にあたって参考となる資料を以下に挙げる。本事業では、英語解説文を元にすることから、英語解説文向けの主要参考資料も併せて掲げておく。

・各官庁による多言語のガイドライン類

観光庁（2014）「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」

<https://www.mlit.go.jp/common/001029742.pdf>

【概要】多言語対応を行う際の表記方法、案内などに用いる具体的な対訳語、多言語表記の統一性・連続性の確保について

【対応言語】英語・中国語（簡体字）・韓国語

文化庁・観光庁（2016）「文化財の英語解説のあり方について」

<http://www.mlit.go.jp/common/001142178.pdf>

【概要】文化財の英語解説の改善・充実にあたっての視点、英語解説の取組事例

【対応言語】英語

環境省（2013制定、2020改定）「自然公園等施設技術指針」

https://www.env.go.jp/nature/park/tech_standards/02.html

【概要】自然公園等の外国人を含む多様な利用者に配慮したユニバーサルデザインのあり方（第2部第2章）、博物展示施設（ビジターセンター）や公共標識（サ

イン類)などの施設のユニバーサルデザイン(第3部第4章・第7章)、多言語表記対訳語集(第4部)

【対応言語】英語・中国語(簡体字)・中国語(繁体字)・韓国語

国土地理院(2016)「地名等の英語表記規程(Notation Rules for Place Names in English)」

<http://www.gsi.go.jp/common/000138865.pdf>

【概要】地名及び施設名の英語表記における標準的な表記方法

【対応言語】英語

国土地理院「多言語表記の地図」

<https://www.gsi.go.jp/kihonjohochousa/multilingual.html>

【概要】国土地理院地図で表記している自然地名・居住地名・交通施設名称等を自動で多言語に変換した地図と、その変換規則

【対応言語】英語・フランス語・中国語(簡体字)・中国語(繁体字)・韓国語・日本語ローマ字

・辞典類

【簡体字版】

《現代汉语词典》(第7版)2016、商务印书馆

《汉语大词典》1986-1993、汉语大词典出版社

《新华字典》(第11版)、2011、商务印书馆(ウェブ無料版あり)

《汉语拼音正词法基本规则》(GB/T 16159—2012)

《中文书刊名称汉语拼音拼写法》(GB3259—1992)

《中国人名汉语拼音字母拼写法》和《中国地名汉语拼音字母拼写规则(汉语地名部分)》

《关于使用全国自然科学名词审定委员会公布的科技名词的通知》

【繁体字版(台湾)】

教育部重編國語辭典編輯委員會編(1981)《重編國語辭典》臺灣商務印書館

教育百科(台湾教育部。詳細な解説文あり)

<https://pedia.cloud.edu.tw/>

・日本に関する百科事典類など

Encyclopedia of Japan. 9 vols. Kodansha, 1983.

Japan: An Illustrated Encyclopedia. 1 vol. Kodansha, 1993.

JAANUS: online Dictionary of Japanese Architectural and Art Historical Terminology.

<http://www.aisf.or.jp/~jaanus/>

Library of Congress: Romanization Guide for Japanese.

<https://www.loc.gov/catdir/cpsd/romanization/japanese.pdf>

Editors Canada: Professional Editorial Standards

<https://www.editors.ca/publications/professional-editorial-standards-2016>

・書式に関するガイドライン類

【簡体字版（主に中華人民共和国）】

《汉语书写规范》

<http://xh.5156edu.com/page/18463.html>

《正规文件字体规定》

<https://wenku.baidu.com/view/ae4769dee53a580216fcfebf.html>

中国出版工作者协会校对研究委员会2005年6月修订

《图书编校质量差错认定细则》（2019修订版）

https://www.sohu.com/a/287913602_757863

【繁体字版（主に台湾）】

《重訂標點符號手冊》修訂版

https://language.moe.gov.tw/001/upload/files/site_content/m0001/hau/c2.htm

教育部國語推行委員會編著，《重訂標點符號手冊》修訂版。2008年12月。

標點符號用法表

<https://www.ey.gov.tw/Page/F0CD366C64B5A15C/ecb75289-a85d-45be-9fb0-0fa64c302b54>

行政院（2015）《文書處理手冊》

附錄 4、標點符號用法表

附錄 5、公文書橫式書寫數字使用原則

第2部：スタイルガイドライン

(1) スタイルガイドライン

(a) 全般的注意

使用辞書

中国語の漢字と単語の規範については、原則として《新華字典》と《現代漢語辞典》を参照する。後者には〈計量単位表〉などが付録されている。台湾繁体字では《教育部重編國語辭典修訂本》を参照する。

中国語の使用については、辞書に載っている正式な単語を使用することを原則とし、漢字を任意に組み合わせて新しい語句を作ることとはできるだけ避ける。また、四字成語を含む熟語などについても、できるだけ広く認められた熟した語句を使用し、任意による作成はできるだけ避ける。

解説に関わる参考資料は、定評があり信頼に足る辞典、出版物などを用いることとし、信憑性の低い情報源は避ける。

段落、フォントなどの書式

- ・MS Wordの箇条書き機能・段落番号機能などの自動フォーマット機能は使用しないこととする。

- ・使用フォントと文字サイズは下記の通りとする。

使用フォント：（全角フォント）Source Han Sans CN Normal

（半角数字・ローマ字）Times New Roman

文字サイズ：11 pt

- ・タイトル：太字（ボールド）で表記
- ・段落冒頭字下げ：全角2字分のスペースを入れる（MS Wordの段落書式「字下げ」は使用せず、段落冒頭には必ず全角2字分のスペースを入れる）。
- ・補足説明：固有表現など分かりにくいまたは誤解しやすい場合、補足説明を加える。短い表現で説明できる場合、該当用語の後ろに括弧を付けて追記する。ある程度詳細な説明が必要な場合、該当用語の後ろに※を付け、解説文の最後に、補足説明として追記する。

漢字表記がない用語・人名の表記方法

日本語をローマ字表記で示すことは、可能な限り避ける。漢字表記がない用語・人名をローマ字表記で示すのは、中国語による表音表記・表意表記を行うことが困難な場合、または誤解を与える可能性がある場合のみとする。

- ・日本語のローマ字表記には、原則として「ヘボン式（平文式）」を用いる。
- ・公式 HP などにローマ字表記がある場合は、それに則る。公式 HP などの表記にゆれがある場合は、「ヘボン式（平文式）」を用いる。

句読点、引用符などの符号

符号の使い方については、原則として下記の公式基準に準拠する。

（簡体字）『标点符号用法』（中華人民共和国国家標準 GB/T 15834-2011）

（台湾繁体字）『重訂标点符号手冊（修訂版）』（中華民国教育部）

以下、主な符号の使い方について摘記しておく。

・句読点

（簡体字）「，（逗号）」「。（句号）」「！（嘆号）」「？（問号）」を用いる。

（台湾繁体字）「，（逗号）」「。（句号）」「！（驚嘆号）」「？（問号）」を用いる（本来は文字の中央位置（＝正中）に表示すべきであるが、使用フォントの関係上、文字の下寄りの表示で用いることとする）。

・複数要素の列挙

（簡体字・台湾繁体字とも）「、（頓号）」を用いる。ただし、書物・作品等の題名を複数列挙する場合、「《》〈〉（書名号）」の間には「、（頓号）」は用いない。

・書物、文学作品、芸術作品の題名

（簡体字）「《》〈〉（書名号）」を用いる。通常は「《》（双書名号）」を用い、双書名号の中にさらに書名等がある場合は、外側に「《》（双書名号）」を、内側に「〈〉（単書名号）」を用いる。

（台湾繁体字）「《》〈〉（書名号）」を用いる。通常は「《》（双書名号）」を用い、書物の一部を構成する篇名などには「〈〉（単書名号）」を用いる。

・引用符

(簡体字)「“” ‘ ’ (引号)」を用いる。通常は「“” (双引号)」を用い、引用文中にさらに引用がある場合は、外側に「“” (双引号)」を、内側に「‘ ’ (単引号)」を用いる。
(台湾繁体字)「「」『』 (引号)」を用いる。通常は「「」 (単引号)」を用い、引用文中にさらに引用がある場合は、外側に「「」 (単引号)」を、内側に「『』 (双引号)」を用いる。

・注釈、補充説明、意味の変わり目

(簡体字・台湾繁体字とも)「—— (破折号)」を用いる。1箇所につき全角2字分を入力すること。

例：

(簡体字)

- ・在这里，二十岁以下的——有的从十一二岁就干这行儿——很少能到二十岁以后改变成漂亮的车夫的，因为在幼年受了伤，很难健壮起来。(老舍《骆驼祥子》)
- ・除去黄色还是黄色，只有遥远的沙丘抹着红唇——那是太阳从那儿升腾起来了。
(从维熙《牵骆驼的人》)

(台湾繁体字)

- ・這來自第三世界芳醇的黑色飲品——我凝視牆上那醒目的「公平貿易」標籤，開始思索——是出自一雙如何粗糙多皺的手？(陳幸蕙〈咖啡、蝴蝶、我〉)
- ・「做大水」是冬山河流域孩子們的共同記憶——平等且沒有階級之分的經驗。整治後這條河已馴化，但你必須自私地承認，最懷念的仍是她的狂野時代。(簡嫔〈水證據〉)

・括弧 (括号)

(簡体字) 内側の語句・表現が中国語・日本語の場合は全角の括弧「()」を、英語または数字と半角記号のみの場合は半角の括弧「()」を用いる。

(台湾繁体字) 内側の語句・表現の言語を問わず、全角の括弧「()」を用いる。

例：

(簡体字)

- ・台湾著名插画家几米 (本名廖福彬)
- ・台湾著名插画家几米 (Jimmy)

(台湾繁体字)

- ・台灣著名插畫家幾米 (Jimmy)

- ・斜体や太字など

(簡体字・台湾繁体字とも) 斜体や太字などの文字装飾は、英語やローマ字表記などの場合を除き、原則として用いない。表現上、強調する必要がある語句には、引用符などを用いるか、語順や文の構造を工夫して強調表現を行う。

- ・その他

詳細は上掲の公式基準を参照されたい。

文体と文調

- ・情報を正確かつ明瞭に伝えることに主眼を置くこと。観光業界でよくみられる、広告を目的とした奇抜な表現や、過度に打ち解けた調子を用いた宣伝的な文体は避ける。本事業で作成される解説文は長期間にわたって利用され、文化的背景と興味関心が様々な幅広い年齢層の読み手の目に触れるものとなる点に留意すること（なお、第1部の補足資料「文体（文章のトーン&マナー）」(p.28) も併せて参照されたい）。
- ・生彩に富みつつも平易で説明的な文体を用いる。余分な語を省き、必要な語のみで文を構成する。過剰に複雑な構文は避け、中国語圏の異なる地域の読み手にも読みやすい解説文にする。
- ・中国語においては、今日でも話し言葉と書き言葉の間には文体の差異が見られる。解説文の文体が書き言葉や美文調に近くなることは避けられない面もあるが、可能な限り話し言葉に近い表現とするよう留意する。
- ・感情的・主観的な表現を省き、客観的な表現を心がける。書き手の価値判断を伴う描写は避ける。

例：(簡体字)

- ・不適切な例：在浄土浦受侵蚀作用而成的海岸上可一睹约 2600 万年前日本海曾为湖泊时的地层样貌。
- ・修正例：浄土浦是一片由海水侵蚀而成的海岸，在这里可以看到大约 2600 万年前日本海曾为湖泊时形成的地层结构。
- ・(日本語：浄土ヶ浦の侵食された海岸では、約 2600 万年前の日本海が湖だったころの地層を見ることができます。)

※長いセンテンスを短く切る。硬い語句の使用を避ける。

例：(簡体字)

- ・不適切な例：由此，金丸座不仅声名鹊起、享誉全国，其氛围之独特、设计之古典，更让三位名家思之念之、难以忘怀。以此为契机，金丸座定期公演的事业亦水到渠成，并延续至今。
- ・修正例：金丸座的名声因此而传遍全国，其独特的氛围和传统设计风格广受人们青睐，并从此开始定期举行公演，一直延续至今。
- ・(日本語：これにより日本中に金丸座の名が知れわたるようになりました。人々は金丸座の独特な雰囲気や伝統的なデザインに魅了され、そのことが定期的な公演を開く契機となりました。)

※情報をすばやくキャッチするためには、美文調にありがちな誇張した表現を避け、簡潔で分かりやすい表現にすることが望ましい。

例：(台湾繁体字)

- ・不適切な例：在被侵蝕的淨土浦的海岸線可觀賞約 2600 萬年前日本海尚為湖泊時的地層風貌
- ・修正例：在淨土浦受到侵蝕的海岸線，可觀賞約 2600 萬年前，日本海還是湖泊時的地層結構。
- ・(日本語：浸食された浄土ヶ浦の海岸線では、約 2600 万年前に日本海がまだ湖だったころの地層を見ることができます。)

※句読点を活用し、長いセンテンスを短く切る。古文調の用語を避ける。

例：(台湾繁体字)

- ・不適切な例：經此金丸座的名聲響徹日本。金丸座獨特的氣氛與傳統的設計令他們為之傾倒，此即舉辦定期公演之契機。
- ・修正例：金丸座的名聲因此傳遍日本。金丸座獨特的氣氛和傳統的設計贏得了他們的青睞，於是開始舉辦定期的公演。
- ・(日本語：これにより日本中に金丸座の名が知れわたるようになりました。人々は金丸座の独特な雰囲気や伝統的なデザインに魅了され、そのことが定期的な公演を開く契機となりました。)

※句読点を活用し、長いセンテンスを短く切る。複雑な構文や硬い書面用語を避ける。

翻訳調の克服

- ・英語や日本語の内容に基づいて中国語解説文を作成する際、できるだけ直訳を避け、翻訳調をなくすよう工夫する必要がある。
- ・中国語は構造的に長文が苦手なので、文が長くなり過ぎないように、元の意味を生かしつつ長文を複数の短文に区切って再構築してみる。特に中国語では長い連体修飾語を好まない。長い連体修飾語は冗長で不自然な中国語文を生み出すだけでなく、内容を理解する上での妨げになる恐れもある。ほかの文構造に置き換えたりして工夫することが望ましい。
- ・また、中国語は形態表記が少ない言語であり、文と文を意味上のつながりで連結するという構文上の特徴が見られる。そのため、複数の文を無理に複雑な長文にするよりは、いわゆる「流水文」のように、接続詞や前置詞に過度に依存せず、意味の自然な流れに沿って前後をつなげるように文を展開させていく。
- ・原文の意味を訳出するために、中国語に馴染まない語句や恣意的な造語を使ったりすることで、難解で不自然な表現を生み出すケースが多くみられる。それを避けるために、できるだけ元の意味を吟味した上で、適切に語句を選んで文を組み立てる。

例：(簡体字)

- ・不適切な例：从日光前往奥日光的第一难关是陡峭的华严溪谷。宗教修行者使用的古老小径狭窄且难以穿越，它们首先被一条更宽的崎岖道路取代，不过这条道路沿途有 700 多个台阶，只能步行或骑马。
- ・修正例：从日光前往奥日光的最大难关是穿越陡峭的华严溪谷。过去宗教修行者们行走的古道崎岖狭窄，后来修了一条略宽的曲折山路来替代它，但这条路沿途有 700 多个台阶，只能徒步或骑马通行。
- ・(日本語：日光から奥日光へ行く際の第一の難関は険しい華嚴溪谷である。宗教的修行者が使っていた狭く、踏破しにくい古い道は、最初幅の広いジグザグの道に取って代わった。しかし、この道には 700 段以上の階段があり、徒歩か馬でしか行くことができなかった。)

例：(台湾繁体字)

- ・錯誤範例：從日光前往奧日光的第一難關是陡峭的華嚴溪谷。宗教修行者使用的古老小徑狹窄且難以穿越，它們首先被一條更寬的崎嶇道路取代，不過這條道路沿途有 700 多個台階，只能步行或騎馬。
- ・修改範例：從日光前往奧日光時，穿越險峻的華嚴溪谷是最大的難關。過去宗教修行者們使用的古道狹窄難行，一開始，修築了一條略為寬廣的曲折道路替代，但這條路上有

700 多階的台階，只能步行或騎馬通行。

- ・（日本語：日光から奥日光へ行く際の第一の難関は険しい華厳溪谷である。宗教的修行者が使っていた狭く、踏破しにくい古い道は、最初幅の広いジグザグの道に取って代わった。しかし、この道には 700 段以上の階段があり、徒歩か馬でしか行くことができなかった。）

※「第一难关」を「最大难关」に、「古老小径狭窄且难以穿越」を「古道崎岖狭窄」のように、原文の翻訳に由来する語句を取捨選択し、翻訳調を克服するようにする。また、原文に引きずられた「更宽的崎岖道路」のような不自然な語句をなくし、より適切な語句を選ぶように工夫する。

例：（簡体字）

- ・不適切な例：此幅挂画为生月岛馆浦某民家所拥有。画作描绘了大天使加百列向圣母玛利亚告知其即将受孕，并诞下耶稣的场景。构图上方绘有云朵，云朵之上是即将成为耶稣父亲的神明。构图下方呈现坐姿的是圣母玛利亚与天使加百列，玛利亚的怀中还绘有幼子耶稣。
- ・修正例：这幅挂轴的持有者是生月岛馆浦的一户居民。画里描绘的场景是大天使加百列告知圣母玛利亚说，她即将受孕并生下耶稣。挂轴上半部画的是高居云端的神，即耶稣之父，下半部是端坐的圣母玛利亚和天使加百列，玛利亚怀中是幼子耶稣。
- ・（日本語：生月島館浦のある家が所有する掛け軸。大天使ガブリエルが聖母マリアにキリストの懐妊を告げる受胎告知の場面を描く。構図の上部には雲上に父なる神がいる。絵の下部には聖母と天使ガブリエルが座っている。マリアの懷には幼子イエスが描かれている。）

例：（台湾繁体字）

- ・錯誤範例：此幅掛畫為生月島館浦某民家所擁有。畫作描繪了大天使加百列向聖母瑪利亞告知其即將受孕，並誕下耶穌的場景。構圖上方繪有雲朵，雲朵之上是即將成為耶穌父親的神明。構圖下方呈現坐姿的是聖母瑪利亞與天使加百列，瑪麗亞的懷中還繪有幼子耶穌。
- ・修改範例：這是生月島館浦民眾持有的掛畫，畫中描繪的場景是大天使加百列告知聖母瑪利亞，她即將懷孕並生下耶穌。圖畫的上半部畫著高居雲端的天父，下半部則是端坐的聖母瑪麗亞與天使加百列，瑪莉亞懷中是幼子耶穌。
- ・（日本語：生月島館浦のある家が所有する掛け軸。大天使ガブリエルが聖母マリアにキリストの懐妊を告げる受胎告知の場面を描く。構図の上部には雲上に父なる神がいる。絵の下部には聖母と天使ガブリエルが座っている。マリアの懷には幼子イエスが描かれてい

る。)

※修正前の「画作描绘了……的场景」は長い連体修飾語構造で分かりづらい。「画中描绘的场景是…」のように文構造を変えて対応する。また「构图上方绘有云朵，云朵之上是即将成为耶稣父亲的神明」のような回りくどい表現を避けて、「挂轴上半部画的是高居云端的神，即耶稣之父」のように簡潔な表現に修正する。なお「神明」は、キリスト教での「神」とは意味が異なるので、単語の意味をしっかりと確認した上で使用することも大切である。

- ・完成した中国語訳は、原文と照らし合わせてみて一見「正しそう」であっても、原文を知らない旅行者の目には煩雑で不自然な中国語になることもある。完成した解説文をいったん原文から離れて吟味し、常に自然で、流れのよい、分かりやすい中国語を追求することを心掛ける。

語句の選択と適切な言い回し

- ・日本の政府機関の監修のもとで整備される解説文として、文章を作成する際は読み手を惹きつける文調を保ちつつ、フォーマルな文体を用いる。
- ・書き言葉による文体は、対象の魅力を引き出す描写という点で有効な面もあるものの、いわゆる「古文調」や「美文調」にもなりがちなので、文体には十分に気をつける。また、古文調に見られがちな陳腐な表現や美文調に見られがちな美辞麗句の過剰な使用もできるだけ避ける。
- ・中国語表現に過剰に使われがちな程度を表す語句(“极为／極為”、“极其／極其”、“～之极／～之極”、“～之至／～之至”など)や古文調の接続詞や副詞(“乃／乃”、“乃至／乃至”、“者／者”、“则／則”、“而／而”、“且／且”、“所／所”、“以／以”など)の使用は可能な限り抑える。
- ・くだけた口語表現やネット用語、若者が常用している音訳や、特定の地域に偏在する略語などは、長期間の利用に適しておらず、中国語圏旅行者の出身地域によってはかえって分かりにくくなる場合もあるため、避けるのが望ましい。

避けるべき例：

(簡体字)“(干)得漂亮”“(吃)得痛快”“顶格”“没毛病”“～的节奏”など

(台湾繁体字)「～桑」「鄉民」「踹共」「咩嘆」など

- ・二人称“你”の使用や、読者に直接語りかけるような文体は、全ての読み手(視覚障害者等を含む)に対して配慮しつつ慎重に用いる必要がある。
- ・二人称を用いる場合は、構文・語法上で必要な場合は“你”で統一する。また、動物

などが語りかけているような内容の場合も“你”を使用する。なお、安全や文化的習慣に関わる指示、またはサービスを提供する場面では、必要に応じて“您”を使用することも可能である。

- ・三人称代名詞（“他”“她”“它”など）も、構文・語法上で必要な場合を除いて、十分に検討した上で使用する。

文章の組み立てと構文

- ・最初の段落では読み手の興味をひきつける必要がある。解説の対象を生き生きと描き出すために、一語一語を有効に用いた文章となるよう推敲を重ねる。
- ・英語や日本語と異なり、中国語では過度に長いセンテンス、特に長い連体修飾語の使用により、内容を判読しにくい文になってしまう恐れがあるため、可能な限り短いセンテンスとなるよう心がける。また、受動文も文脈によってはマイナスのニュアンスを伴いがちなので慎重に使用する。

例：（簡体字）

- ・不適切な例：此圣母子像是春日村落隐匿基督徒世代供奉的对象。雕像与勋章等其他圣器一同被收藏于名为“紧闭之箱”的木箱中，目前仍安置于神坛之上。
- ・修正例：这座圣母子像受到春日村落隐匿基督徒几代人的供奉。雕像和徽章等其他圣器一起收藏在名为“紧闭之箱”的木箱中，至今仍供奉在神坛上。
- ・（日本語：この聖母子像は春日集落のかくれキリシタンに代々拝まれてきた。像は「開けず箱」と呼ばれる木箱にメダルなど他の信仰具とともに入れられており、現在も神棚に置かれている。）

※「此圣母子像是春日村落隐匿基督徒世代供奉的对象」は中国語として分かりづらい。また「被收藏于名为“紧闭之箱”的木箱中」の“被”はなくてよい。

例：（台湾繁体字）

- ・不適切な例：在以日本屈指可數的規模為傲的遊樂園豐島園中，位於園內北側的「紫陽花園」的花卉正是美不勝收的花期。
- ・修正例：「豐島園」是規模在日本屈指可數的遊樂園，位於園內北側的「紫陽花園」正值花期。
- ・（日本語：日本有数の規模を誇る遊園地である豊島園では、園内の北側にある「あじさい園」の花が見頃です。）

※「在以日本屈指可數的規模為傲的遊樂園豐島園中」→過度に長く、内容が判読しにくくなる。

例：（台湾繁体字）

- ・不適切な例：此聖母子像是春日村落的隱匿基督徒們代代敬拜的對象。雕像和徽章等其他聖物一起被放在被稱為「緊閉之箱」的木箱裡，現在仍安置於神壇之上。
- ・修正例：這座聖母子像受到春日村落的隱匿基督徒們代代敬拜。雕像和徽章等其他聖物一起收藏在名為「緊閉之箱」的木箱裡，現在仍安置於神壇上。
- ・（日本語：この聖母子像は春日集落のかくれキリシタンに代々拝まれてきた。像は「開けず箱」と呼ばれる木箱にメダルなど他の信仰具とともに入れられており、現在も神棚に置かれている。）

※雕像和徽章等其他聖物一起被放在被稱為「緊閉之箱」的木箱裡→不自然な文章になるため、「被」を削除し、用語を変更。

外国人に馴染みのない日本語の名詞と用語

日本語の言葉や名前を使う際は、読み手の理解を促す解釈や情報を全角記号の（）で補記する。固有名詞については、日本語漢字でそのまま使用し、（）に中国語訳または解釈をつける。

例：（簡体字）

- ・（日本語）石札 ⇒ （簡体字）石札（石牌，石制许愿牌）
- ・（日本語）中世 ⇒ （簡体字）日本中世紀（12-16 世紀）

例：（台湾繁体字）

- ・（日本語）御守 ⇒ （台湾繁体字）護身符
- ・（日本語）中世 ⇒ （台湾繁体字）日本中世紀（12-16 世紀）

（または「12～16 世紀」と表記してもよい）

その他の注意すべき語句や表現

- ・日本語と中国語で意味の異なる言葉に注意する。

例：

（簡体字）

- ・（日本語）境内（けいだい） ⇒ （簡体字）神社院内，寺院内

※日本語の「境内」は、神社・寺院などの宗教施設が占有している土地や敷地を表し、中国語の“境内”とは異なっている。このため簡体字では“境内”を用いず、文脈に応じて“神社院内，寺院内”などと訳す。

- ・（日本語）シャクナゲ ⇒ （簡体字）杜鹃花

※シャクナゲの日本語漢字「石楠花」をそのまま中国語として使用すると、まったく別の「カナメモチ」属の植物になってしまう。

（簡体字／台湾繁体字）

- ・（日本語）新聞（しんぶん） ⇒ 报纸／報紙

※日本語の「新聞」は新聞（newspaper）のみを指し、中国語の「新聞」（news）とは意味が異なるため、そのまま用いることは避ける。

- ・対応する中国語の単語が存在しない日本固有の名称などについては、日本語の漢字表記を優先し、かつ下記の順位に従う：

①日本語の漢字を中国語の漢字に置き換えて表記する。

②ひらがな・カタカナ・ローマ字による表記は、次のどちらかの方法で表記する。

- ・まず日本語の漢字表記に改めた上で、それを中国語の漢字に置き換えたものを括弧内に表記する。

- ・中国語の漢字で表音表記または表意表記として使用する。

③ローマ字で表記する。表記方法はヘボン式（平文式）を基本とする（ただし、③の方法はできる限り避けるのが望ましい）。

- ・日本語をローマ字で表記する場合、日本語の語は斜体にするか、または引用符で囲む。斜体と引用符を同時に用いることはしない。

- ・文中に「注解的な説明」を自然に盛り込み、読み手の理解を促す。

- ・歴史上の人物について言及する場合は、括弧で生没年を併記し、文章中の他の箇所の説明がない場合は人物についての簡単な説明を添える。

例：

（簡体字）本多静六 (1866 - 1952), 日本林业学者、造园专家

（台湾繁体字）本多靜六（西元 1866—1952），日本林業學者、造園專家

- ・日本語の固有名詞に重要な意味が込められている場合は、文中で意味の部分を補足する。

例：

（簡体字）

- ・据说这座“北辰之梟”便是神社能保学业顺遂的缘由（“梟”的日语发音与“不苦劳”相同，象征不费劳苦，成就学业）。
- ・据说爬上爱宕神社的「出世台阶」可以提升自己的事业运（「出世」在日语里意为高升、飞黄腾达）。

（台湾繁体字）

- ・據說這座「北辰之梟」便是神社能保學業順遂的緣由（「梟」的日語發音與「不苦勞」相同，象徵不費勞苦、成就學業）。
- ・據說若爬上愛宕神社的「出世之石階」，就可提升自己的事業運（「出世」在日文中意指升官、飛黃騰達）。

各媒体における執筆ガイドライン

媒体ごとに適切なトーン&マナーと文字数のガイドラインを設定している（第1部の補足資料「媒体の種類と特徴」（pp.28-29）を参照）。

・看板

100～300 字程度（長くてもなるべく 400 字以内とする）。

各段落の冒頭には必ず 2 字分のスペースを入れて段落の位置を示す（段落の間を 1 行空けることはしない）。

- 外国人訪問者が現地で読むことを想定。
- 文化的・歴史的事実、および重要な背景的情報を文中に盛り込む。
- 訪問者の視線を付近のものに誘導するように情報を提示する。
- まず、読み手の目の前にある対象物（建物、彫像等）について説明する。次に、対象物の背景的情報を説明する。その上で、対象物の周囲の建物や関連スポットについての情報を付け加える、という説明順序を意識する。
- 時間的に前後するような説明は避ける。時系列に沿った解説が望ましい。

・ウェブサイトと電子看板

文章量は場合によって異なる。長くなりすぎないように注意する。

インデントは用いず、段落間は 1 行空ける。

長いセクションは小見出しをつけて分割する。

- 導入部は読み手に魅力を感じさせる必要がある。導入部では、まず観光地についての概要となぜその場所が重要なのかを伝える。その上で、その場所へのアクセスなどの詳細を述べる。
- 生き生きとした熱心な文章であってもよいが、感情的な表現、誇張した表現にならないよう注意する。

・印刷物

文章量は場合によって異なる。書かれたものが印刷物の仕様に合わせて調整されることがある。

各段落の冒頭には必ず 2 字分のスペースを入れて段落の位置を示す（段落の間を 1 行空けることはしない）。

- 現地で読まれるだけでなく、訪れる前や訪れた後にも読まれる可能性がある。
- 執筆対象の背景、見所、逸話、名産品、アクセス情報などを網羅する。

・音声ガイド・AR（拡張現実）のSCRIPT

長さは場合によって異なるが、各セクション（部分）は、多くの場合1分間に満たない。

- ローマ字で表記される日本語の語句は、ナレーターが長音を発音できるように、マクロン（長音符）などを用いて長音を明記する。
- 聞き手にとって聞き取りづらい、または理解しづらい可能性がある言葉は避ける。
- 聞き手の関心をひきそうな対象について解説する。
- 情報を付け加えることで分かりやすくなる説明がないか検討する。
- 原稿を見直す際は、実際に声に出して読んでみる。
- （録音時に）簡体字版では北京標準語を、台湾繁体字版では台湾国語を使用する。

(b) 表記方法

人物・施設、流派・宗派、生物等の名称

人物・施設等の名称（固有名詞）は、下記の優先順位に従って表記する。

- ①日本語の漢字を中国語の漢字に置き換えて表記する。
- ②ひらがな・カタカナ・ローマ字による表記は、次のどちらかの方法で表記する。
 - ・まず日本語の漢字で表記した上で、それを中国語の漢字に置き換えて表記する。
 - ・中国語で表音表記または表意表記する。
- ③ローマ字で表記する（ただし、③の方法はできる限り避けるのが望ましい）。

・施設、会社、ブランドなどの名称

下記の優先順位に従って表記する。

- ①ネット上の公式サイトに正式な中国語版（機械翻訳ではない）がある場合、これを採用する。
- ②有名ブランドで定訳がある場合、これを採用する。
- ③正式な中国語訳がなく、定訳もない場合、日本語漢字に基づく中国語訳→英語またはローマ字の順で決める。

例：（簡体字／台湾繁体字）

あべのハルカス近鉄本店→ 近鉄百貨海闊天空总店／近鐵百貨海闊天空總店

あべのハルカス→ 阿倍野HARUKAS／阿倍野HARUKAS

東京スカイツリー→ 东京晴空塔／東京晴空塔

・芸術、芸能、工芸、宗教、思想、信仰などの流派・宗派などの名称

仏教用語に関しては、中国語で一般に用いられる用語がある場合は、日本語における用語よりも中国語における用語を優先的に用いる。

ジャンル	用語例	英語	簡体字	台湾繁体字
絵画	大和絵	<i>Yamato-e</i>	大和绘	大和繪
	日本画	Japanese-style painting	日本画	日本畫
	洋画	Western-style painting	西洋画	西洋畫
	南画	Southern School painting	南画	南畫
芸能	歌舞伎	Kabuki	歌舞伎	歌舞伎
	能	Noh	能（能乐、能剧）	能（能樂、能劇）
	雅楽	<i>Gagaku</i>	雅乐	雅樂
思想・信仰	国学	<i>Kokugaku</i>	国学	國學
	修験道	<i>Shugendo</i>	修验道	修驗道
建築様式	禅宗様	Zen-style	禅宗样（“禅宗样”风格）	禪宗樣
	唐様	Chinese-style	唐样（“唐样”风格）	唐樣
	和様	Japanese-style	和样（“和样”风格）	和樣
焼き物	大樋焼き	Ōhi ware	大樋烧	大樋燒
	楽焼き	Raku ware	乐烧	樂燒
漆器	輪島塗り	Wajima ware; acquered wood with makie (sprinkled metallic powder) decoration	轮岛涂	輪島塗

・植物、動物の名称

植物・動物などの生物名は、ラテン語の学名に基づいた中国語名称を用いるのが望ましい。

日本の特有種や亜種・変種、命名の時期が比較的近いものなど、辞書には定着した中国語名称がない場合には、属名または同属の近い生物を参考に、英語または日本語訳に基づいて訳出した上で、その後に括弧書きでラテン名（不明な場合は英語名）を示す。

対象の生物名（日本語名）が文学作品や芸術作品などに登場するなど、日本について学ぶ上で日本語名の知識が役立つと思われる場合は、中国語名の後に括弧書きで簡単な説明を加える。

なお、同一解説文の中で同一の括弧書きは2度以上用いない（初出箇所のみを示す）。

例：

（簡体字）

- ・琉球松鴉（*Garrulus lidthi*）被日本指定为天然纪念物。日前鹿儿岛一户人家发现琉球松鴉在自宅筑巢下蛋，开心地每天去观察，还帮鸟妈妈制作小宝宝成长记录！

（台湾繁体字）

- ・琉球松鴉（*Garrulus lidthi*）被日本指定為天然紀念物。日前鹿兒島一戶人家發現琉球松鴉在自宅築巢下蛋，開心地每天去觀察，還幫鳥媽媽製做小寶寶成長記錄！

暦と時代

・年代

各時代の年代的範囲については、第2部の補足資料「日本の歴史年表」を参照。年代の表記には原則として西暦を用いる。和暦（元号）は、文脈上必要な場合のみ、西暦と併記する形で言及する。

歴史上の人物については、西暦で生没年を付記する。時代、歴史上の出来事、文化財に指定された年などについても西暦で示す。

人物の生年が不明な場合は、「xxx前后 / xxx前後」を使うか、大まかな時代を述べる（例：“活跃于19世纪” / 「活躍於19世紀」）。ただし、生没年が不明な人物の時代が文脈上明らかな場合は、それで十分である（別途明記する必要はない）。人物の没年が不明、またはその人物が存命中であり、かつ時代が文脈から明らかでない場合、必要であれば生年のみを示す形式でもよい。

確定していない年代（例：丰臣秀吉, 1536或37–1598 / 豐臣秀吉, 西元1536或37–1598）については、対象となる観光拠点または地域協議会が指定する年代を使う。

年代の数字は、原則として算用数字を用いる（漢数字は使用しない）。

- ・人物の生没年、または開始年と終了年

例：（簡体字／台湾繁体字）

源有綱 (1155–1186) / 源有綱（西元1155–1186）

清栖幸保 (1901–1975) / 清栖幸保（西元1901–1975）

徳川宗武 (1716–1771) / 徳川宗武（西元1716–1771）

大正时代 (1912–1926) / 大正時代（西元1912–1926）

- ・「紀元前／紀元」の表記が必要な場合

紀元前後にまたがって年代を示す場合は、宗教的に中立的な表現である「公元前，公元／西元前，西元」を使用する。簡体字の場合は、紀元後の年代のみの場合は「公元」を省略してよい。

例：（簡体字／台湾繁体字）

縄文时代 (公元前10000年–公元前300年) /

繩文時代（西元前10000年–西元前300年）

战国时代 (1467–1568) / 戰國時代（西元1467–1568）

- ・時代

読み手は日本の時代区分と年号に馴染みが薄いと考えられる。読み手に解説文の内容をしっかりと伝えるために、対応する西暦年や世紀を併記すること。

本事業で用いる時代区分と元号については、第2部の補足資料「日本の歴史年表」を参照。本事業では、年号と時代／時代を次のように区別する。

- ・年号（元号）：平成、明治、寛政などの時代区分。

→一部の元号は、芸術や文化の時代の区切りを示す。“文化文政时代 (1804–1830)” / 「文化文政時代（西元1804–1830）」のように西暦年を併記する。

- ・時代／時代（歴史上の区分）：一般的な時代区分。

→日本の場合、縄文・弥生から近代・現代までの歴史の区分を指す。例えば、元禄時代 (1688–1704)、徳川時代 (1603–1867) など。第2部の補足資料「日本の歴史年表」を参照。

(c) 数値に関する書式

数字の表記方法

数字の表記方法については、原則として下記の公式基準に準拠する。

(簡体字)『出版物上の数字用法』(中華人民共和国国家標準 GB/T 15835-2011)

(台湾繁体字)〈公文書横式書寫數字使用原則〉

<https://www.ey.gov.tw/Page/F0CD366C64B5A15C/ecb75289-a85d-45be-9fb0-0fa64c302b54>

数字は原則としてアラビア数字(算用数字)を使用する。ただし、「一个／一個」「兩人／兩人」「两种／兩種」など、漢数字を用いるのが中国語として自然な表現では、これに限らない。

以下、主な数字の表記方法について摘記しておく。

・ケタ数の大きい数の表記

4ケタ以上の数字は、読みやすさを考慮して、3ケタごとに「, (半角カンマ)」で区切ってよい。ただし、4ケタの数字は必ずしも区切らなくてもよい。また、数値が大きい場合は、読みやすくするために「億」と「万」の単位を漢字で表記することができる。ただし、「千」と「百」は使用しない。

(簡体字) ○ : 1,546,600 人 または 154 万 6600 人

× : 154 万 6 千 6 百人 とは書かない。

○ : 2022 年末的中国人口为 141175 万人 または 14 亿 1172 万人

(台湾繁体字) ○ : 1,546,600人

○ : 154 萬 6 千 6 百人 台湾繁体字では、この表記でもよい。

度量衡

度量衡の表記方法については、原則として下記の公式基準に準拠する。

(簡体字)『国际单位制及其应用』(中華人民共和国国家標準 GB 3100-93)

(台湾繁体字)〈公制單位標準表〉

http://www.measuring.org.tw/knowledge/knowledge_detail.asp?id=2

度量衡の単位には、原則としてメートル法を用いる。

種別	日本語	英語	簡体字	台湾繁体字
長さ	キロメートル	kilometer	千米(公里)	公里(千公尺)
	メートル	meter	米	公尺
	センチメートル	centimeter	厘米(公分)	公分
	ミリメートル	millimeter	毫米	公釐
重さ	トン	ton	吨	公噸
	キログラム	kilogram	千克(公斤)	公斤(千公克)
	グラム	gram	克	公克
	ミリグラム	milligram	毫克	毫克(毫公克)
面積	ヘクタール	hectare	公顷	公頃
	アール	are	公亩	公畝
	平方キロメートル	square kilometer	平方千米(平方公里)	平方公里
	平方メートル	square meter	平方米	平方公尺
	平方センチメートル	square centimeter	平方厘米	平方公分
容積	キロリットル	kilolitre	千升	千公升
	リットル	litre	升	公升
	ミリリットル	millilitre	毫升	毫升(c.c.)
	立方メートル	cubic meter	立方米	立方公尺
	立方センチメートル	cubic centimeter	立方厘米	立方公分

温度

温度の表記方法については、原則として下記の公式基準に準拠する。

(簡体字)『国际单位制及其应用』(中華人民共和国国家標準 GB 3100-93)

(台湾繁体字) 交通部中央氣象局雙語詞彙對照

https://www.cwb.gov.tw/V8/C/K/bilingual_glossary.html

温度は原則として摂氏を用いる。数字の後に「度(必要な場合は“摂氏度”)」または「℃」を付けて示す。

例：

(簡体字) 36.5度 36.5摄氏度 36.5℃

(台湾繁体字) ○：36.5度 攝氏36.5度 36.5℃

×：36.5攝氏度

※台湾繁体字で「攝氏」を入れる場合は数字の前に付け、「度」または「℃」を数字の後に付ける。

金額

金額の表記方法については、原則として下記の公式基準に準拠する。

(簡体字)『表示货币和资金的代码』(中華人民共和国国家標準 GB/T 12406-2008)

(台湾繁体字)《貨幣及基金代碼之表示法》(中華民國國家標準 CNS 12873)

<https://www.cbc.gov.tw/tw/dl-134270-8a025618c71748288253f609958e4ced.html>

(簡体字) 金額はアラビア数字(算用数字)を用いる。4ケタ以上の数字は、3ケタごとに「, (半角カンマ)」で区切る。

通貨単位の表示には、通貨記号(¥・\$・£・€など)は使用しない。数字の後に「日元」「美元」「英鎊」「欧元」などを付けて金額を示す。

(台湾繁体字) 金額はアラビア数字(算用数字)を用いる。4ケタ以上の数字は、3ケタごとに「, (半角カンマ)」で区切る。

通貨単位の表示には、通貨記号(¥・\$・£・€など)は使用しない。数字の後に「日圓」「美元」「英鎊」「歐元」などを付けて金額を示す。

(d) その他の注意事項

文化財、天然記念物、世界遺産などの指定について

文化財や天然記念物については、できるだけ日本語の表記を生かして訳すが、必要な場合は括弧書きで訳語や解釈を付記する。

指定年が分かり、それが読み手の理解を促す場合は指定年を付記する。

例：(簡体字／台湾繁体字)

文化財 ⇒ 文化财产（文物）／文化財産、文化資産

重要文化財 ⇒ 重要文化财产（重要文物）／重要文化財産、重要文化資産

国宝 ⇒ 国宝／國寶

重要美術品 ⇒ 重要美术品／重要美術品

史跡名勝 ⇒ 史迹名胜（名胜古迹）／史蹟名勝、名勝古蹟

天然記念物 ⇒ 天然紀念物／天然紀念物

無形文化財 ⇒ 非物质文化遗产（非物质文化遗产）／無形文化財産、無形文化資産

世界文化遺産 ⇒ 世界文化遗产／世界文化遺産

ユネスコ無形文化遺産 ⇒ 联合国教科文组织非物质文化遗产

／聯合國教科文組織無形文化遺産

包摂的（インクルーシブ）な表現を用いる

文章中のジェンダー、エスニシティ、信仰などに関わる事柄の表現について配慮すること。

訳語の選択

簡体字と台湾繁体字それぞれでなじみのある用語を選択する。原文の同一ワードに対する訳語は、同一解説文の中では統一する。

例：ロープウェイ

（簡体字）索道

（台湾繁体字）纜車

温泉の効能について書く時の注意

温泉の効能について書く（翻訳する）際は、科学的に検証済みの情報と経験的な知見を区別するよう十分注意する必要がある。（原文以上に）効果を誇張することを避ける。

(2) 第2部の補足資料

本補足資料に記載の内容には変更等の可能性もあるため、あくまで参考資料として利用するものとし、可能な限り最新の情報を確認すること。

注意

本事業では、このマニュアルに示したスタイルガイドラインの表記ルールを正とする。
正式な中国語の固有名詞が存在する場合はそれを使用する。

例：（簡体字／台湾繁体字）

裁判所 ⇒ 法院／法院

帝国ホテル ⇒ 帝国飯店／帝國飯店

国連 ⇒ 联合国／聯合國 など

また、本補足資料の表に示した用語・訳例は、あくまで一例として参照されたい。実際の作成では、それぞれの説明対象物の性格や、説明文が用いられる場面、文章の読みやすさや文脈を考慮して、最適な訳語を選択することが必要である。

ローマ字表

日本語をヘボン式（平文式）ローマ字で表記する際は、Japan Style Sheet のローマ字表を参照。（japanstylesheet.com より入手可能）

日本の歴史年表

時代			文化		
日本語	簡体字	台湾繁体字	日本語	簡体字	台湾繁体字
原始	原始	原始			
			縄文時代	縄文时代 （公元前 10000年–公 元前300年）	縄文時代 （西元前 10000年–西 元前300年）
			弥生時代	弥生时代 （公元前 300年–公元 300年）	彌生時代 （西元前 300年–西元 300年）
			古墳時代	古坟时代 (250–552)	古墳時代 （西元250– 552）

古代	古代	古代			
大和	大和时代 (300–710)	大和時代 (西元300–710)			
			飛鳥時代	飞鸟时代 (552–645)	飛鳥時代 (西元552–645)
			白鳳文化	白凤文化 (645–710)	白鳳文化 (西元645–710)
奈良時代	奈良时代 (710–794)	奈良時代 (西元710–794)	天平文化	天平文化 (710–794)	天平文化 (西元710–794)
平安時代	平安时代 (794–1185)	平安時代 (西元794–1185)	弘仁・貞觀文化	弘仁・贞观文化 (794–894)	弘仁、貞觀文化 (西元794–894)
			藤原時代	藤原时代 (897–1185)	藤原時代 (西元897–1185)
中世	中世纪	中世紀			
鎌倉時代	鎌仓时代 (1185–1333)	鎌倉時代 (西元1185–1333)			
建武の新政	建武新政 (1333–1336)	建武新政 (西元1333–1336)	北山文化	北山文化 (1367–1408)	北山文化 (西元1367–1408)
室町時代	室町时代 (1136–1573)	室町時代 (西元1136–1573)	東山文化	东山文化 (1449–1473)	東山文化 (西元1449–1473)
南北朝時代	南北朝时代 (1336–1392)	南北朝時代 (西元1336–1392)			
戦国時代	战国时代 (1467–1568) [关于年代有不同说法]	戰國時代 (西元1467–1568) 眾說紛紜			
近世	近代前叶	近代早期			
安土桃山時代	安土桃山时代 (1568–1603)	安土桃山時代 (西元1568–1603)	桃山文化	桃山文化 (1568–1600)	桃山文化 (西元1568–1600)
江戸時代	江戸时代 (1603–1867)	江戸時代 (西元1603–1867)	元禄文化	元禄文化 (1688–1704)	元禄文化 (西元1688–1704)

			文化文明	文化文明 (1804–1829)	文化文明 (西元1804–1829)
近代	近代	近代			
明治時代	明治時代 (1868–1912)	明治時代 (西元1868–1912)			
大正時代	大正時代 (1912–1926)	大正時代 (西元1912–1926)			
昭和時代	(戦前) 昭和時代 (1926–1945)	(戦前) 昭和時代 (西元1926–1945)			
現代	現代	現代			
昭和時代	(戦後) 昭和時代 (1945–1989)	(戦後) 昭和時代 (西元1945–1989)			
平成時代	平成時代 (1989–2019)	平成時代 (西元1989–2019)			
令和時代	令和時代 (2019 –)	令和時代 (西元2019 –)			

Japan Style Sheet. Society of Writers, Editors, and Translators, Tokyo (2020)をもとに作成

神社仏閣

・名称

次の表に示すように、日本語には寺院や神社を分類する呼称が複数ある。

(寺院の場合) ～寺、～院など

(神社の場合) ～神社、～神宮、～大社など

寺院や神社の名前を表記する際、原則として日本語表記を使用するが、必要に応じて括弧書きで訳語や解釈を付記する。

日本語	英語	簡体字	台湾繁体字	解説 (簡体字／台湾繁体字)
神社	Shinto shrine	神社	神社	
神宮	Shinto shrine	神宮	神宮	
天満宮	Tenman shrine	天満宮	天滿宮	指日本祭祀学问之神菅原道真的神社, 分布于日本各地。/ 指日本祭祀

				學問之神菅原道真的神社，分布於日本各地
--	--	--	--	---------------------

大社	(grand) shrine	大社	大社	意为大神社 / 意指大神社
稻荷大社	Inari shrine	稻荷大社	稻荷大社	主要祀奉以宇迦之御魂神为首的诸位稻荷神。稻荷神是掌管农业与商业的神明，香客前来祭拜祈求农作丰收、生意兴隆、交通安全。 / 祀奉以宇迦之御魂大神为首的诸位稻荷神。稻荷神是掌管農業與商業的神明，香客前來祈求農作豐收、生意興隆、交通安全。
～寺（例：清水寺）	temple	～寺（例：清水寺）	～寺（例：清水寺）	
～院（例：寂光院）	temple	～院（例：寂光院）	～院（例：寂光院）	

・神社の施設・設備・参拝に関する用語

日本語	英語	簡体字	台湾繁体字	解説（簡体字／台湾繁体字）
社殿	shrine building	社殿	社殿	指神社建筑。 / 指神社建築。
本殿	main sanctuary	本殿（正殿）	本殿（正殿）	
着到殿	arrival hall	着到殿（到达殿）	著到殿（到達殿）	
幣殿	offering hall	币殿	幣殿	参拜者奉上币帛之处。 / 參拜者奉上祭品之處。
拝殿	worship hall	拜殿	拜殿	
本社	main shrine	本社	本社	神社总部所在。 / 神社總部所在。
末社	subsidiary shrine	末社	末社	指在神社的本社之的外而受到该神社管理的小型神社。 / 意指在神社本社之外，接受該神社管理的小型神社。
奥宮	inner shrine	奥宮	奧宮	
中宮祠	chūgūshi middle shrine	中宮祠	中宮祠	
鳥居	gate	鸟居	鳥居	指类似牌坊的日本神社附属建筑，代表神域的入口，用于区分神域和凡世。 / 形狀類似牌坊，日本神社的附屬建築，代表神域

				的入口，區分神域與人界。
石段	stone step	石阶	石階	
参道	approach	参道	參道	参拜用的道路。 / 參拜用的道路
手水舍	hand-washing fountain	手水舍	手水舍	手水舍是位于神社，寺庙的参道或社殿旁的设施，设有净手池供参拜者洗手和漱口。 / 手水舍是位於神社、寺廟的參道或社殿旁的設施，設有淨手池供參拜者洗手和漱口。
手水鉢	water basin	手水鉢	手水鉢	神社和寺院中用来洗手的水槽，多为石制。 / 神社和寺院中用來洗手的水槽，多為石製。
灯笼	lantern	灯笼	燈籠	
石灯笼	stone lantern	石灯笼	石燈籠	
釣灯笼	hanging lantern	吊灯笼	吊燈籠	
万灯笼	lantern festival	万灯笼节	萬燈籠節	
狛犬	guardian figures	狛犬（日本石狮）	狛犬	石狮传到日本称为狛犬。 / 傳說中的生物，鎮守於日本的神社外。
繪馬	votive tablet	绘马	繪馬	在日本神社、寺院裡祈愿时用的一种奉纳物，一般用木片制成。 / 日本神社、寺院中許願時使用的木板，多為木製並繪有圖樣。
柄杓	ladle	长把木杓	長柄木杓	长把水舀。 / 舀水用的長柄杓。
香炉	incense burner	香炉	香爐	
二礼二拍手一礼	lit., “two bows, two claps, and final bow”	二礼二拍手一礼	二禮二拍手一禮	神社的参拜方式。 / 神社的參拜方式：鞠躬兩次、拍手兩次、鞠躬一次。
賽錢箱	offertory box	赛钱箱	賽錢箱	功德箱。 / 功德箱。
御朱印	seal	御朱印	御朱印	日本神社或寺院授予参拜者的参拜证明。 / 日本神社、寺院授予参拜者的參拜證明。
御朱印帳	book for collection of (shrine/ temple) seals	御朱印帳	御朱印帳	

御神輿	portable shrine	神轿	御神輿、神轎	祭祀时抬着神牌位游行用的轿子。 / 祭祀時繞境遊行用的轎子，上放神像或神位，由信徒拉動。
-----	-----------------	----	--------	--

・日本の神様一覧

日本語	英語	簡体字	台湾繁体字	解説
味耜高彥根命	Ajisukitaka hikone no Mikoto	味耜高彥根神	味耜高彥根命、味耜高彥根神	
天兒屋根命	Ame no Koyane no Mikoto; the god of wisdom	天儿屋根神	天兒屋根命、天兒屋根神	
天照大御神	Amaterasu Ōmikami	天照大神	天照大御神、天照大神	
天押雲根命	Ame no Oshikumo-ne no Mikoto; the god of water and purification	天押云根神	天押雲根命、天押雲根神	
經津主命	Futsunushi no Mikoto; the god of swords	经津主神	經津主命、經津主神	
比売神	Himegami	比卖神	比賣神	
大己貴命	Ōnamuchi no Mikoto	大己贵神	大己貴命、大己貴神	
瀬織津姫	Seoritsu-hime; goddess of exorcism	濑织津姬	瀬織津姬	
須佐之男命（素戔鳴尊）	Susanoo no Mikoto	須佐之男命（素戔鳴尊）	須佐之男命（素戔鳴尊）	※神社等が用いる表記に合わせる。
武甕槌命	Takemikazuchi no Mikoto; the god of thunder	建御雷神	武甕槌命、建御雷神	

田心姫命	Tagorihime no Mikoto	田心姫	田心姫命	
豊受大御 神	Toyoyuke no Ōmikami	丰受大神	豊受大御 神	

・寺院の施設・設備

日本語	英語	簡体字	台湾繁体字	解説（簡体字／台湾繁体字）
山門	main gate	山门	山門	指寺院正面的楼门。／寺院的大門。
仁王門	gate of the guardian kings	仁王门	仁王門	指安置伽蓝守护神金刚力士的楼门。／安置有鎮守寺廟的金剛力士之門。
楼門	two-story gate	楼门	樓門	
本堂	main hall	本堂（正 殿）	本堂（正 殿）	
講堂	lecture hall	讲堂（讲经 堂）	講堂（講經 堂）	
観音堂	Kannon-do hall	观音堂	觀音堂	
阿弥陀堂	Amidado hall	阿弥陀堂 （弥陀堂）	阿彌陀堂	
金堂	main hall	金堂（大雄 宝殿）	金堂	
鐘楼	bell tower	钟楼	鐘樓	
宿坊	lodgings for pilgrims at a temple	宿坊	宿坊	宗教中特指佛教寺院或神社提供僧侶、参拜者等的住宿設施。／佛教寺院或神社提供給僧侶、参拜者等使用的住宿設施。
護摩・護摩 祈祷	Goma fire ritual	护摩（梵 语）・护摩 祈祷（密教 的火祭・火 祭祀法）	護摩、護摩 祈禱、	起源于婆罗门教，指以燃烧供品的方式供养给本尊。／起源於婆羅門教，是透過生火供養以求願望實現的儀式。
末寺	subtemple	末寺	末寺	指别院，隶属于“本寺（本山）”的寺院。／由本寺支配的寺院
總本山	head temple	总本山	總本山	指禅宗总部。／統管一宗、一派的寺院。
内陣	inner sanctum	正殿	正殿	

障壁画	paintings on partitions	障壁画	障壁畫	绘于拉门、屏风上的画作。／繪於拉門、屏風上的畫作。
経蔵	sutra repository	藏经阁	藏經閣	收藏佛经的书阁。／收藏佛經的書閣。

・仏、菩薩

仏教用語に関しては、原則として日本語の用語を使用するが、中国語で一般に用いられている用語がある場合は、中国語の用語を優先する。

日本語	英語	簡体字	台湾繁体字	解説（簡体字／台湾繁体字）
如来（によらい）	Nyorai Buddha	如来佛	如來佛	
阿弥陀如来	Amida, or Amida (Amitabha) Buddha	阿弥陀佛	阿彌陀如來、阿彌陀佛	别名无量佛、无量光佛、无量寿佛等。在大乘佛教信仰中为西方极乐世界教主。／又名無量佛、無量光佛、無量壽佛，為西方極樂世界的教主，代表無限光明。
薬師如来	Buddha of Healing	药师佛（药师如来）	藥師如來佛	一般指药师琉璃光如来，又译为药师琉璃光王佛。药师，比喻能治众生贪、瞋、痴的医师。／又名藥師琉璃光佛或藥師如來，為東方淨土琉璃世界的教主。
菩薩（ぼさつ）	Bodhisattva	菩萨	菩薩	
地藏菩薩	Jizo	地藏菩萨	地藏王、地藏菩薩	据《地藏十轮经》讲，由于此菩萨“安忍不动如大地，静虑深密如秘藏”，所以称为地藏王。／又稱幽冥教主，是婦女、孩童的保護神，護佑婦女順產、孩童平安長大
観音菩薩	Kannon	观音菩萨（观世音菩萨）	觀音菩薩	观世音菩萨是东亚民间普遍敬仰崇拜的菩萨，在各种大乘佛教图像或造像中观世音菩萨像也最为常见，而且种类繁多，变化极大。／佛教和民間信仰的神明，又稱觀世音、觀自在、觀音佛祖。
千手観音	Thousand-Armed Kannon	千手观音	千手觀音	
十一面観音	Eleven-Faced Kannon	十一面观音	十一面觀音	
弥勒菩薩	Buddha of the future (Maitreya)	弥勒菩薩	彌勒菩薩	

日光菩薩	Sunlight Bodhisattva	日光菩薩	日光菩薩	
月光菩薩	Moonlight Bodhisattva	月光菩薩	月光菩薩	
權現	the appearance of a Buddha in the form of a Shinto deity	权现	權現	指佛菩薩為普度眾生而显现化身。／佛菩薩化身以日本神明的形態出現。
地藏	jizō statue	地藏	地藏	
明王	Buddhist guardian king; Wisdom King	明王	明王	
不動明王	Wise King	不动明王	不動明王	為佛教密宗五大明王主尊、八大明王首座，大日如來的教令輪身。在鎮守東西南北中五個方位的五大明王中，為鎮守中央方位的明王，也是著名的護法。／佛教密宗五大明王主尊。在五大明王中鎮守中央，是知名的護法。
愛染明王	a deity that transforms worldly desire into spiritual awakening	爱染明王	愛染明王	
吽形と阿形	Ungyo and Agyo	哼哈二將	哼哈將軍	立于大門兩端，守護寺廟神社的神祇。／立於大門兩端，守護寺廟神社的神明。

・その他信仰に関する用語

日本語	英語	簡体字	台湾繁体字	解説（簡体字／台湾繁体字）
山岳信仰	mountain asceticism	山岳信仰	山岳信仰	將山作為神聖崇拜對象的一種信仰。／將山岳視為崇拜對象的一種信仰。

靈山	sacred mountain, or sacred peak	灵山	靈山	主要指山岳信仰所崇拜的山。／山岳信仰中崇信的山岳。
神仏習合	fusion of Buddhism and Shinto	神佛習合（神佛合一）	神佛習合（神佛合一）	指融合佛教与神道原生神祇的信仰。／將佛教與日本神社信仰折衷融合而成的信仰。
六道	six states of existence	六道	六道	众生轮回之道。／輪迴的六種分類，包含：天、阿修羅、人、畜生、餓鬼、地獄。
陰陽	yin and yang	阴阳	陰陽	
御嶽	sacred site (in Okinawa)	御岳	御嶽	古代琉球国的一种宗教设施，也叫“腰当森”、“拜山”等等。／古代的琉球王國用來指稱神聖地方的漢字；御嶽信仰是琉球群島原生的信仰。
末法	the end of the Law, or latter days of the Law	末法	末法	指佛教中所说的末法时期。／末法時期，即佛教正法毀壞的時期。
アルファとオメガ	alpha and omega	“阿耳法”和“敖默加”	「阿爾法」與「歐米茄」	基督教中表示起始与结尾的希腊字母。／基督教中表示起始與結尾的希臘字母。
声明（しょうみょう）	shōmyō	声明（音声佛事）	聲明（梵唄）	佛教徒在佛事活动中歌咏的一种曲调佛教音乐。／佛教儀式中讚詠歌頌佛德的聲音。

・宗教建築

日本語	英語	簡体字	台灣繁体字	解説（簡体字／台灣繁体字）
塔	pagoda	塔	塔	
五重塔	five-story pagoda	五重塔	五重塔	
三重塔	three-story pagoda	三重塔	三重塔	
拜殿	haiden	拜殿	拜殿	
相輪	sōrin shaft	相轮	相輪	五重塔頂上方的金属部分。／五重塔頂上方的金屬部分。
磨崖仏	magaibutsu	摩崖佛	磨崖佛	崖壁上的石刻佛像。／崖壁上的石刻佛像。

自然地名

日本は山、峠、丘陵、高原、平野、岬、海岸、谷、川、小川、湿原など、北半球の他の地域でもみられる地形をふんだんに備えた国である。それぞれの場所の名称が異なるため、中国語圏旅行者が認識しやすいように、中国語に訳す時に統一性を配慮しつつも、なるべく元の日本語漢字を生かした名称を使用することが望ましい。

日本語	英語	簡体字	台湾繁体字
「地名部分＋地形部分」の名称の例			
荒川	Ara River	荒川	荒川
筑波山	Mt. Tsukuba	筑波山	筑波山
等々力溪谷	Todoroki Ravine	等々力（等等力） 溪谷	等等力溪谷
石見高原	Iwami Highland	石見高原	石見高原
奥羽山脈	Ōu Mountain Range (or Ōu mountain range)	奥羽山脉	奥羽山脈
白糠丘陵	Shiranuka Hills	白糠丘陵	白糠丘陵
関東平野	Kantō Plain	关东平原	關東平原
山岳の名称			
権現岳	Mt. Gongendake	权现岳	權現岳
七ツ岳	Mt. Nanatsudake	七岳	七岳
父ヶ岳	Mt. Tetegatake	父岳	父岳
京ノ岳	Mt. Kyōnotake	京之岳	京之岳
只狩山	Mt. Tadakariyama	只狩山	只狩山
島の名称（五島ジオパークの例）			
黒島	Kuroshima Island	黑岛	黑島
福江島	Fukue Island	福江岛	福江島
姫島	Himeshima Island	姬岛	姬島
峠の名称（峠＝山間道路の最高处，山口／山間道路の最高處）			
釣瓶落峠	Tsurube-Otoshi Pass	钓瓶落峠（釣瓶落 岭）	釣瓶落峠

植物

中国語での正式名称を確認できない場合は、属名などを採用した上で、後ろに学名または英語名称を補う。

日本語	英語	簡体字	台湾繁体字
マリモ	marimo	毬藻	毬藻
アカエゾマツ	Sakhalin spruce	库页云杉	赤蝦夷松
ダケカンバ	Erman's birch	岳桦	岳樺

ミズナラ	Japanese oak	水榲	水榲
ラワンブキ	Giant Japanese butterbur (<i>Rawan-buki</i>)	大蜂斗菜 (Giant butterbur)	日本蜂斗菜(Giant butterbur)
メアカンキンバイ	Meakan-kinbai	雌阿寒山莓草 (<i>Sibbaldia miyabei</i>)	雌阿寒金梅 (<i>Sibbaldia miyabei</i>)
メアカンフスマ	Meakan-fusuma	雌阿寒无心菜 (<i>Arenaria merckiioides</i>)	雌阿寒衾 (<i>Arenaria merckiioides</i>)
チャーギ	Buddhist pine	罗汉松	羅漢松
テンナンショウ	jack-in-the-pulpit	天南星	天南星
ホオノキ	Japanese bigleaf magnolia (<i>hōnoki</i>)	日本厚朴	日本厚朴
アオキ	Japanese aucuba (<i>aoki</i>)	青木	東瀛珊瑚
ブナ	Japanese beech	山毛榉	山毛櫨
キタゴヨウ	Northern Japanese white pine (<i>kitagoyō</i>)	日本北方五针松 (<i>Pinus parviflora var. pentaphylla</i>)	日本北方五針松 (<i>Pinus parviflora var. pentaphylla</i>)
クバ	<i>kuba</i>	蒲葵	蒲葵
ケヤキ	<i>zelkova</i>	榉树	櫨樹
スタジイ	<i>Castanopsis sieboldii</i>	米楮	西氏楮
カシ	oak	栎树(oak)	櫨樹
シャリンバイ	Yeddo hawthorn	厚叶石斑木	石斑木
ツワブキ	Japanese silver leaf	大吴风草	山菊
ジングウツツジ	<i>jingū-tsutsuji</i> [azalea]	罗勒杜鹃	神宮杜鹃
ツゲ	Japanese boxwood	日本黄杨	日本黄楊
カキツバタ	rabbit-ear iris	燕子花	燕子花
クチナシ	gardenia	梔子	梔子花
ウバメガシ	<i>ubame-gashi</i> oak	乌冈栎	烏岡櫨
コバノミツバツツジ	<i>kobanomitsuba</i> azalea	微脉杜鹃	丁香杜鹃
ヤブツバキ	<i>yabutsubaki</i> camellia	山茶	山茶、山茶花
ハマユウ	giant crinum lily (<i>Crinum asiaticum</i>)	文殊兰	文殊蘭
ハマボウ	<i>hamabō</i>	海滨木槿	海濱木槿
ヒジキ	<i>hijiki</i> seaweed	羊栖菜	羊棲菜
テングサ	agar seaweed	石花菜	石花菜
ツガ	southern Japanese hemlock	日本铁杉	日本鐵杉
ミヤマキリシマ	Miyama Kirishima azalea	九州杜鹃	九州杜鹃
ヒノキ	<i>hinoki</i> cypress	日本扁柏	日本扁柏
カエデ	maple	枫树	楓樹
ササユリ	bamboo lily	日本百合	日本百合

アマモ	eelgrass	大叶藻	大葉藻
砂ずりの藤	<i>sunazuri no Fuji</i>	Sunazuri紫藤	Sunazuri紫藤
ヤツシロソウ	clustered bellflower	丛生桔梗	聚花風鈴草
クララ	<i>kurara</i>	苦参	苦蔘
松（まつ）	pine	松树	松樹
桐（きり）	paulownia	毛泡桐	毛泡桐
茅（かや）	<i>kaya reed</i>	禾草	茅草
ヒゴタイ	globe thistle	糙毛藍刺头	糙毛藍刺頭
キスミレ	Oriental yellow violet	东方堇菜	東方堇菜
クロマツ	Japanese black pine	黑松	黑松
コナラ	<i>konara oak</i>	枹栎	思茅槲櫟
シラカシ	<i>shirakashi</i>	小叶青冈	黑櫟
イチイガシ	<i>ichiigashi</i>	赤皮青冈	赤皮
アカガシ	Japanese evergreen oak	日本常绿橡树	短尾葉石櫟
クヌギ	Japanese chestnut oak	麻栎	麻櫟
カシワ	<i>daimyō oak</i>	榲桲	榲桲
ススキ	<i>susuki (eulalia grass)</i>	芒草	芒草
イタドリ	Japanese knotweed	虎杖	虎杖
ヒサカキ	Japanese eurya	柃木	日本柃木
ヤシャブシ	Japanese green alder	坚硬桤木	日本赤楊
アカマツ	red pine	赤松	赤松
モミ	<i>momi fir</i>	日本冷杉	日本冷杉
月桂樹	<i>gekkeiju</i> ; Japanese bay	月桂	月桂
馬酔木	<i>ashibi</i> ; Japanese andromeda	马醉木	馬醉木
杉	<i>sugi</i> ; cryptomeria	日本柳杉	日本柳杉
高山植物	<i>kōzan shokubutsu</i> ; alpine plant	高山植物	高山植物

(簡体字)

下記のウェブサイト参照して作成。

《中国植物物种信息数据库》 <http://db.kib.ac.cn/Default.aspx>

(台湾繁体字)

下記のウェブサイト参照して作成。

《台灣植物資訊整合查詢系統》 <https://tai2.ntu.edu.tw/index.php>

《農業知識入口網》 https://kmweb.coa.gov.tw/theme_list.php?theme=subject_list_view

動物

中国語での正式名称を確認できない場合は、属名などを採用した上で、後ろに学名または英語名称を補う。

日本語	英語	簡体字	台湾繁体字
エゾシカ	Yezo shika deer	蝦夷梅花鹿(Cervus nippon yesoensis)	蝦夷鹿 (Cervus nippon yesoensis)
エゾモモンガ	Siberian flying squirrel	蝦夷鼯鼠(Pteromys volans orii (Kuroda, 1921))	蝦夷鼯鼠(Pteromys volans orii)
クマゲラ	black woodpecker	黑啄木鸟	黑啄木鳥
オジロワシ	white-tailed eagle	白尾海雕	白尾海鷗
オオハクチョウ	whooper swan	大天鹅	黃嘴天鵝 (大天鵝)
ニホンカモシカ	Japanese serow	日本髭羚	日本長鬃山羊
コゲラ	Japanese pygmy woodpecker (<i>kogera</i>)	小星头啄木鸟	小星頭啄木鳥
サシバ	grey-faced buzzard	灰面鵟	灰面鵟
アサギマダラ	chestnut tiger butterfly	大絹斑蝶	大絹斑蝶
イワツバメ	house martin	烟腹毛脚燕	毛腳燕
アカウミガメ	loggerhead turtle	赤蠆龟	赤蠆龜
カワウ	great cormorant	鸕鶿	鸕鶿
ミサゴ	osprey	鵟	魚鷹
ヒヌマイトトンボ	four-spot midget	四斑細蟬	四斑細蟬
シロチドリ	Kentish plover	环颈鸻	東方環頸行鳥
ウミネコ	black-tailed gull	黑尾鸥	黑尾鷗
ガムシ	<i>Hydrophilidae</i>	水龟虫	水龜蟲
ハネカクシ	rove beetle	隐翅虫	隱翅蟲
ハッチョウトンボ	hatchou-tombo	八丁蜻蜓	小紅蜻蜓
スナメリ	finless porpoise	江豚	露脊鼠海豚
ホオジロ	bunting	三道眉草鹀	草鶉
ウグイス	fan-tailed warbler	日本树莺	日本樹鶯
オオジシギ	Latham's snipe	大田鹬	大地鹬
ハイタカ	Japanese sparrow hawk	雀鷹	北雀鷹
ノスリ	common buzzard	日本鵟	東方鵟

コミミズク	short-eared owl	短耳鴞	短耳鴞
アオゲラ	Japanese green woodpecker	绿啄木鸟	綠啄木鳥
カッコウ	cuckoo	大杜鹃	大杜鵑
クロツラヘラサギ	black-faced spoonbill	黑脸琵鹭	黑面琵鷺
ケラマジカ	Kerama deer	琉球梅花鹿(Cervus nippon keramae)	慶良間鹿 (Cervus nippon keramae)

食・食文化

日本語	英語	簡体字	台湾繁体字	解説（簡体字／台湾繁体字）
温泉饅頭	bean-jam buns sold at a hot spring resort	温泉馒头（温泉豆沙包）	溫泉饅頭	日本温泉景区特有的点心，一般是豆沙馅。／日本温泉景区特有的點心，通常是豆沙餡。
笹寿司	sushi wrapped in <i>sasa</i> bamboo leaves	笹寿司	笹壽司	用竹叶包裹米饭，并装入木箱压实成型的寿司。／用竹葉包裹米飯，並裝入木箱加壓成形的壽司。
流しそうめん	“streaming” <i>sōmen</i> noodles	流水素面（流水挂面）	流水素麵	用筷子截取顺竹制水道一路流下来的素面享用。／用筷子撈取沿竹製流水管一路流下的素麵享用。
麹	<i>kōji</i> mold used for fermentation	酒曲	酒麴	用于酿酒的发酵工序中。／用於釀酒的發酵作業。
日本酒	<i>Sake</i> (rice wine とは表現しない)	日本酒	日本酒	又名清酒。／又名清酒。
天然酵母	natural yeast	天然酵母	天然酵母	
和三盆	fine-grained Japanese sugar	和三盆糖	和三盆糖	原产自日本香川县和德岛县等四国地方东部的糖。／原產自日本香川縣和德島縣等四國地方東部的糖。
和菓子	traditional Japanese sweets	和菓子（日式糕点）	和菓子（日式點心）	日式甜点／日式甜點。
駄菓子	<i>dagashi</i>	駄菓子（怀旧零食）	駄菓子「（一種懷舊零食）」	昭和时代一度流行的小零食。／昭和時代曾經流行的零嘴。

ぬた	<i>nuta</i>	凉拌鱼贝 (Nuta)	涼拌魚貝 (Nuta)	小滨地区的特色菜，大葱凉拌鲜鱼贝。／日本的乡村料理之一，以醋味噌凉拌蔬菜或鱼贝类。
四十物(あいもの)	<i>aimono</i>	四十物(腌鱼)	四十物(醃魚)	通常用鲷鱼和方头鱼腌制而成。／鱼乾等醃製的海鲜。
お好み焼き	<i>okonomi-yaki</i>	什锦烧	什錦燒	一种用小麦粉在铁板上煎烤而成的美食。／将麵糊、蔬菜等食材以鐵板煎烤而成的美食。
なれずし	<i>nare-zushi</i>	发酵寿司	發酵壽司	用盐腌制过的鱼肉与米饭一起发酵而成，被视为今日寿司的祖先。／將魚肉以鹽和米飯一起發酵而成的食品，是壽司的原始型態。

その他

日本語	英語	簡体字	台湾繁体字	解説(簡体字／台湾繁体字)
外堀	outer moat	外堀(外护城河)	外堀(護城河)	环绕城堡全体的护城河。／環繞城堡外側的護城河。 ※日本語の漢字をそのまま使い、括弧書きで説明を追加する。
門櫓	drum gate turret	门櫓(城楼)	門櫓(城樓)	日本城堡内用于放哨防御的望楼。／日本城堡內用於守衛的塔樓。
額縁庭園	the framed garden	缘额庭园	緣額庭園	从客殿眺望庭院，庭院仿佛是嵌在客殿木柱和门楣间的一幅画作，故得名。／從房內眺望庭院所見的景色，彷彿是鑲嵌在木柱與門楣間的畫作，因而得名。
原爆ドーム	Atomic Bomb Dome	原子弹爆炸遗址	原子彈爆炸遺址	※現地指定の訳語(固有名詞)。
関ヶ原の戦い	the Battle of Sekigahara	关原之战	關原之戰	※「ヶ」は訳さず、「の」を「之」と訳する。
キリシタン	<i>Kirishitan</i>	吉利支丹	吉利支丹	日本对改信基督教者的旧称。／日本對信仰基督宗教者的稱呼。
山車(だし)	float	山车(花车、彩车)	藝閣	日本节日庆典时沿路巡游的一种大型花灯车。／在祭典時，招請神明暫居，沿路巡遊的大型花車。
ラッセーラ！ラッセーラ！	<i>Rassera! Rassera!</i>	rassera! rassera!	rassera! rassera!	睡魔山车巡游时的号子声。／青森睡魔祭中，山車繞境時人們發出的喊聲。 ※擬声語はローマ字で表記する。

以上